

令和2年（2020年）4月入学

宇都宮大学大学院
地域創生科学研究科修士課程

第2次学生募集要項

一般選抜

社会人特別選抜

外国人留学生特別選抜

学部3年次生特別選抜

国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜

宇都宮大学

豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、38 ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予などについて、できるだけ配慮をいたします。

困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

☆ 主要日程

	全ての学位プログラム
出願受付期間	令和2年2月10日(月)～2月13日(木) 9時から16時まで（ただし、祝日は除く）
試 験 日	令和2年3月4日(水)
合格者発表	令和2年3月11日(水) 13時30分

入学試験過去問題の開示について

地域創生科学研究科では、平成30年度に実施した入学試験問題（専門科目）を開示しています。

○ 窓口での閲覧

開示場所 アドミッションセンター事務室（峰キャンパス）及び陽東学務課（陽東キャンパス）

開示時間 9時～17時（土曜・日曜・祝日・年末年始は除く）

○ インターネットでの閲覧

本学ホームページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/past-other-questions.php>

※インターネット上では、著作権法上問題になる部分を開示していません。

個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続など入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係（学生証交付、履修指導、名簿作成等）及び学生生活関連（奨学金、授業料免除等）の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

学生募集要項に関する問い合わせ先

宇都宮大学アドミッションセンター事務室
〒321-8505 宇都宮市峰町350
電話 028-649-5405

目 次

○ 地域創生科学研究科の概要	1
○ 地域創生科学研究科アドミッション・ポリシー	4
○ 地域創生科学研究科修士課程第2次学生募集要項	
I. 専攻別募集人員	8
II. 入学者選抜方法	9
1. 一般選抜	9
2. 社会人特別選抜	15
3. 外国人留学生特別選抜	19
4. 学部3年次生特別選抜	25
5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜	30
III. 外国語の検査について	34
IV. 教育研究分野別の専門科目一覧(一般選抜, 外国人留学生特別選抜, 学部3年次生特別選抜)	35
V. 入学検定料免除について	38
VI. 入学手続	38
VII. 入学料及び授業料等	39
VIII. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について	39
IX. 長期履修学生制度	39
X. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	40
XI. 奨学金制度	40
XII. 試験場案内図	41
XIII. 各学位プログラムへの問い合わせ先	42
XIV. 研究指導教員一覧	43

(添付書類等)

- ・ 入学志願票
- ・ 写真票, 受験票
- ・ 研究計画書
- ・ 推薦書
- ・ 国際交流・国際貢献活動の概要
- ・ 銀行振込用紙 (入学検定料振込用)
- ・ 入学検定料振込受付証明書貼付台紙
- ・ 入学検定料免除申請書
- ・ 宛名シール・志願票受付用シール
- ・ 受験票送付用封筒
- ・ 出願用封筒

地域創生科学研究科の概要

【理念】

『21 世紀の課題を解決して持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために、社会デザインとイノベーションの創造を支える高度な人材を育成するとともに、特徴的で強みのある研究を推進する。』

【地域創生科学研究科における「地域」】

本研究科では、『地域とは、地理的・物理的意味を単位とする特定の空間や範囲を示すものではない。問題意識に応じて設定され、可変的で多様な性格を有するもので、「ローカル／ナショナル／リージョナル／グローバル」の連結関係のなかで構成される。』と定義しています。

具体的には、コミュニティレベルから、都市や地域、国土全体そして国際的なレベルまでを想定し、これらの幅広いフィールドを対象として教育研究を推進します。

【専攻・学位プログラム】

社会デザイン科学専攻（入学定員：77 名）

学位プログラム	授与学位	標準定員（目安）
コミュニティデザイン学プログラム	修士（学術）	（ 8 ）
農業・農村経済学プログラム	修士（農学）	
建築学プログラム	修士（工学）	（38）
土木工学プログラム	修士（工学）	
農業土木学プログラム	修士（農学）	
グローバル・エリアスタディーズプログラム	修士（国際学）	（26）
多文化共生学プログラム	修士（学術）	
地域人間発達支援学プログラム	修士（学術）	（ 5 ）

工農総合科学専攻（入学定員：258 名）

学位プログラム	授与学位	標準定員（目安）
光工学プログラム	修士（光工学）	（54）
分子農学プログラム	修士（分子農学）	
物質環境化学プログラム	修士（工学）	（57）
農芸化学プログラム	修士（農学）	
機械知能工学プログラム	修士（工学）	（47）
情報電気電子システム工学プログラム	修士（工学）	（82）
農業生産環境保全学プログラム	修士（農学）	（18）
森林生産保全学プログラム	修士（農学）	

【育成する人材像】

社会デザイン科学専攻

○コミュニティデザイン学プログラム

コミュニティデザイン学の高度な知識・技術を修得して、コミュニティをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農業・農村経済学プログラム

農業・農村経済学の高度な知識・技術を修得して、食料・農業・農村に関する社会システムをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○建築学プログラム

建築学の高度な知識・技術を修得して、建築に関する設計者・技術者・研究者としての能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○土木工学プログラム

土木工学の高度な工学技術を修得して、快適で安全・強靱な社会基盤をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農業土木学プログラム

農業土木学の高度な知識・技術を修得して、良好な農業農村基盤をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○グローバル・エリアスタディーズプログラム

日本及び世界各地で発生している諸問題を理解・解決するための高度な知識・技術を修得して、グローバルな観点から社会をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○多文化共生学プログラム

多文化共生学に関する高度な知識・技術を修得して、文化・言語・思想・宗教・価値観・立場の異なる人々が共に生きる多文化共生社会をデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○地域人間発達支援学プログラム

人間発達支援学の高度な知識・技術を修得して、人間の思考、生活、健康等の観点から、「人・ヒト」の「心とからだ」に関する社会システムをデザインする能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

工農総合科学専攻

○光工学プログラム

光学に関する高度な知識・技術を修得して、実践的な技術者・研究者としての能力を有し、広く世界の光学技術の創造・発展をリードして、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○分子農学プログラム

分子農学に関する高度な知識・技術を修得して、遺伝情報の解析技術とその発現機構に基づく分子レベルの知見を応用し実践する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○物質環境化学プログラム

物質化学に関する高度な知識・技術を修得して、多様な場面においてそれを活用できる能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○農芸化学プログラム

生命化学に関する高度な知識・技術を修得して、マクロとミクロの視点から取り組む実践的な能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○機械知能工学プログラム

知能機械に関する高度な知識・技術を修得して、国際的に通用する研究者・技術者としての能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○情報電気電子システム工学プログラム

電気・電子・情報・通信に関する高度な知識・技術を修得して、国際的に通用する研究者・技術者としての能力を有し、新たな問題発見と課題定立から持続可能な豊かな地域創生に貢献できる人材

○農業生産環境保全学プログラム

農産物の生産・加工、資源循環、環境保全、野生鳥獣管理等に関する高度な知識・技術を修得して、省力・高品質生産を実現する新たな農業の確立に資する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

○森林生産保全学プログラム

森林・林業に関する高度な知識・技術を修得して、森林と人間の多様で持続的な関係の構築や森林資源の利活用に資する能力を有し、持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献できる人材

地域創生科学研究科アドミッション・ポリシー

【地域創生科学研究科】

1. 求める学生像

- (1) 学修と研究に必要な基礎学力を有する人
- (2) 創造的思考力と主体的な行動力を持って、新しい領域に意欲的に挑戦しようとする意欲を持つ人
- (3) 専門的知識・技術と実践力を身に付けて、地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 学位プログラムの学修及び研究に必要な基礎学力や思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 専門分野や境界・学際領域における課題への関心、知識や技術の修得に対する意欲、主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

【社会デザイン科学専攻】

求める学生像

- (1) 多様な人々が共生し持続可能な人間社会や社会環境のデザインに関する学修と研究に必要な基礎学力を有する人
- (2) 社会デザインに関する分野の専門能力を高めながら、創造的な能力を身に付けたい人
- (3) 社会デザインを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ コミュニティデザイン学プログラム

求める学生像

- (1) コミュニティデザイン学を学修するために必要な政策科学、まちづくり、生活文化などの基礎学力を有する人
- (2) コミュニティの現場に目を向け、現場の実践から学び、新しい課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) コミュニティデザイン学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 農業・農村経済学プログラム

求める学生像

- (1) 農業・農村経済学を学修するために必要な社会科学（経済学、社会学、歴史学など）の基礎学力を有する人
- (2) 高度な論理的思考能力と現実社会の中から積極的に学ぼうとする姿勢を持って、食料・農業・農村に関する新しい課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 農業・農村経済学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 建築学プログラム

求める学生像

- (1) 建築学を学修するために必要な建築構造学、建築計画学、建築環境工学、建築材料学などの基礎学力を有する人
- (2) 地球環境・地域社会の変化と建築との関わりを学び、ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- (3) 建築学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ 土木工学プログラム

求める学生像

- (1) 土木工学を学修するために必要な構造工学，水工学，地盤工学，土木計画学，土木材料学などに関する基礎学力を有する人
- (2) 地球環境・地域社会の変化と社会基盤との関わりを学び，ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- (3) 土木工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ 農業土木学プログラム

求める学生像

- (1) 農業土木学を学修するために必要な土，水，農村環境に関する基礎学力を有する人
- (2) 地球環境・地域社会の変化と農業農村基盤との関わりを学び，ローカルからグローバルに至る多様な視点で新たな創造へ挑戦する意欲のある人
- (3) 農業土木学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ グローバル・エリアスタディーズプログラム

求める学生像

- (1) 国際学を学修するために必要な国際協力論，政治学，経済学，地域研究などの基礎学力を有する人
- (2) グローバルな諸問題に関心を持ち，学際的な幅広い教養と問題解決に必要とされる高度な実践力を身に付けて，新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- (3) グローバル・エリアスタディーズを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ 多文化共生学プログラム

求める学生像

- (1) 多文化共生学を学修するために必要な社会学，文学・文化研究，心理学，言語学，人権論などの基礎学力を有する人
- (2) 文化，言語，思想，宗教，価値観，立場の異なる人々が共に生きる社会の形成について深く学び，新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- (3) 多文化共生学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

○ 地域人間発達支援学プログラム

求める学生像

- (1) 地域人間発達支援学を学修するために必要な教育・心理学，健康・生活科学，言語・芸術学などの基礎学力を有する人
- (2) 創造的思考力と主体的な行動力を持ち，人間発達支援に関する新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- (3) 人間発達支援学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人

【工農総合科学専攻】

求める学生像

- (1) イノベーションに関する学修と研究に必要な自然科学等の基礎学力を有する人
- (2) イノベーションに関する工学分野・農学分野の専門能力を高めながら、創造的な能力を身に付けた人
- (3) イノベーションを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 光工学プログラム

求める学生像

- (1) 光工学を学修するために必要な数学、物理学や光学に関する基礎学力を有する人
- (2) 光工学を基盤として、境界領域への関心も高く、創造的・独創的な課題に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 光工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 分子農学プログラム

求める学生像

- (1) 分子農学を学修するために必要な分子生物学、遺伝学、生理学などの基礎学力を有する人
- (2) 生命現象を分子レベルで理解するとともに、農学や生命科学の諸課題と分子解析技術について強い関心を持ち、農林水産分野で活用することに挑戦する意欲を持つ人
- (3) 分子農学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 物質環境化学プログラム

求める学生像

- (1) 物質環境化学を学修するために必要な物理化学、有機化学、無機化学などの基礎学力を有する人
- (2) 化学を中心とする製造業において、機能性物質開発や環境問題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 物質化学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 農芸化学プログラム

求める学生像

- (1) 農芸化学を学修するために必要となる、化合物や生理活性物質の特性や機能性に関する化学的・生化学的な基礎学力を有する人
- (2) 広く食品、医薬品、化粧品などの産業や公共機関等において、機能性物質開発や環境問題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 生命化学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 機械知能工学プログラム

求める学生像

- (1) 機械知能工学を学修するために必要な熱力学、流体工学、機械力学、材料力学、数学などの基礎学力を有する人
- (2) 機械知能工学や「ものづくり」に関心を持ち、創造的・独創的に思考しながら、研究課題や実践的・応用的なものづくりに挑戦することに意欲を持つ人
- (3) 機械知能工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 情報電気電子システム工学プログラム

求める学生像

- (1) 情報電気電子システム工学を学修するために必要な情報数学, 情報基礎理論, 電磁気学, 電気回路などの基礎学力を有する人
- (2) 情報電気電子システム工学を基盤として, 「ヒト」と「モノ」をつなぐ先端システムの開発に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 情報電気電子システム工学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 農業生産環境保全学プログラム

求める学生像

- (1) 農業生産環境保全学を学修するために必要な生物資源科学, 農業環境工学などに関する基礎学力を有する人
- (2) 農業生産が抱える諸問題の解決に強い関心と熱意を持ち, 最新のテクノロジーを農林生産の場に活用しようという意欲を持つ人
- (3) 農業生産環境保全学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

○ 森林生産保全学プログラム

求める学生像

- (1) 森林生産保全学を学修するために必要な森林生産育林学, 森林管理政策学, 森林工学, 森林生産利用学などに関する基礎学力を有する人
- (2) 森林・林業・林産業の分野で高度な知識と研究能力を身に付け, 将来は専門職業人・研究者として諸課題の解決に挑戦する意欲を持つ人
- (3) 森林生産保全学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

令和2年4月入学

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科修士課程第2次学生募集要項

I. 専攻別募集人員

専攻	学位プログラム	入学定員	選抜区分	募集人員
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学プログラム 農業・農村経済学プログラム 建築学プログラム 土木工学プログラム 農業土木学プログラム グローバル・エリアスタディーズプログラム 多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム	77名	一般選抜	23名
			推薦特別選抜（※）	（定員31名 募集終了）
			社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜	若干名
工農総合科学専攻	光工学プログラム 分子農学プログラム 物質環境化学プログラム 農芸化学プログラム 機械知能工学プログラム 情報電気電子システム工学プログラム 農業生産環境保全学プログラム 森林生産保全学プログラム	258名	一般選抜	41名
			推薦特別選抜（※）	（定員103名 募集終了）
			社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次生特別選抜	若干名

留意事項

○ 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜は、社会デザイン科学専攻のうちグローバル・エリアスタディーズプログラム及び多文化共生学プログラムのみ実施します。

※ 推薦特別選抜は、令和2年4月入学の学生募集を終了（令和元年6月に入学試験を実施）しています。
この学生募集要項では出願できません。

Ⅱ. 入学者選抜方法

入学者選抜方法は、選抜区分（「1. 一般選抜」「2. 社会人特別選抜」「3. 外国人留学生特別選抜」「4. 学部3年次生特別選抜」「5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜」）によって内容が異なるので、出願を希望する選抜区分のページを必ず読んでください。

1. 一般選抜

（全ての専攻・学位プログラムで実施します。）

（1）出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、学長が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、学長が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 学長が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達する者

（2）出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和2年1月23日（木）までにアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。

出願資格⑧、⑨又は⑩で出願しようとする者は、アドミッションセンター事務室へ早急に必ず問い合わせ、令和2年1月23日（木）までに出願資格個別審査申請の手続きをしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

（3）出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、43ページ「ⅩⅦ. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、相談をしてください。

(4) 出願手続

入学志願者は、下記「③出願書類及び入学検定料」に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて、下記「②出願書類提出先」へ持参又は郵送してください。

① 出願受付期間

令和2年2月10日（月）から2月13日（木）まで（ただし、祝日は除く）

持参する場合の受付時間は、9時から16時までとし、郵送の場合も出願受付期間最終日の16時までまでに必着のこと。

なお、出願受付期間（日時）終了後に到着したものは受理しません。

② 出願書類提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室

③ 出願書類及び入学検定料

- ◇印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙を使用してください。
- *印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙の他、本学ホームページ<<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/graduate.php>>からダウンロードした様式も利用できます。また、黒ボールペンによる自筆の他、パソコン・ワープロによる記入も認めます。
- 受理した書類等は、TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び TOEIC® L&R IP テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・ 所定の事項を必ず裏面まで記入してください。
◇写真票・受験票	全員	・ 必要事項を記入し、写真をそれぞれ所定の位置に貼ってください。 ・ 写真は、出願前3か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身（4×3cm）の2枚同じものです。
*研究計画書	コミュニティデザイン学, グローバル・エリアスタディーズ及び多文化共生学プログラム出願者	・ 本学所定様式により、日本語1,000字程度又は英語500words程度で作成してください。
卒業証明書, 又は卒業見込証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 本学を卒業見込みの者は、証明書自動発行機を利用し、厳封する必要はありません。 ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。

出願書類	提出該当者	摘要
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・ 34 ページ「Ⅲ. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
学位授与証明書等	(1)出願資格②に該当する者	・ 大学改革支援・学位授与機構が作成したもの ・ 授与される見込みの場合は、学位授与証明書に代えて、在籍する学校長等が作成した学位授与申請することの証明書を提出してください。
国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生(研究留学生に限る。)、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生	・ 該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査(外国語(英語)及び専門科目)を免除しますので、必ず出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・ 市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・ 本学に在学中の者(科目等履修生及び研究生を含む。)は、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・ 日本に在住していない場合、出願前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。
入学検定料 (◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙)	全員	30,000円 本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行、栃木銀行、みずほ銀行)のいずれかの口座へ振り込んでください。その際、ATMは使用しないでください。振込銀行の窓口で発行される「振込受付証明書」を「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付し、提出してください。 <u>入学検定料免除の場合</u> 次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せず、かつ、「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」に氏名とフリガナを記入の上、「免除申請」を○で囲んで提出してください。 (ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、38 ページ「V.入学検定料免除について」を参照し、「*入学検定料免除申請書」を併せて提出してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。
◇受験票返送用封筒	全員	・ 受験者の住所、氏名を明記の上、郵便切手(速達郵便料) 374 円を貼ってください。
◇宛名シール・志願票受付用シール	全員	・ シールに所定の事項を記入してください。

④ 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので、令和2年2月27日(木)までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

(5) 選抜方法

学力検査（専門科目及び外国語（英語））、口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
専門科目	以下の＜一般選抜専門科目一覧＞を確認してください。
口述試験	学位プログラムごとで行います。

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査（専門科目及び外国語（英語））を免除します。

＜一般選抜専門科目一覧＞

◎：必須科目 △：選択科目（出願時に届け出） ★：選択科目（試験時に選択）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学	1 科目	◎ 「コミュニティデザイン学」
	農業・農村経済学	2 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照） △ 農業・農村経済学プログラムの専門科目のうち、 「志願する教育研究分野」以外の専門科目（35 ページを参照）
	建築学	2 科目	◎ 「建築学基礎」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照） ※建築学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している電卓は認められません。
	土木工学	2 科目	◎ 「土木工学基礎」 ※＜力学＞及び＜数学＞について出題。 ◎ 「土木工学一般」 ※下記 6 分野から出題。試験時に 3 分野を選択し解答。 ＜構造＞、＜水理＞、＜土質＞、＜計画＞、＜材料＞、 ＜マネジメント（プロジェクトマネジメント・防災マネジメント）＞
	農業土木学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照）
	グローバル・エリアスタディーズ	2 科目	◎ 「グローバル・スタディーズ（小論文）」 ◎ 「エリア・スタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	2 科目	◎ 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」 ◎ 「多文化共生学Ⅱ」 ※下記 4 分野から出題。試験時に 1 分野を選択し解答。 ＜思想・芸術・歴史＞、＜文化・比較文化、文学・比較文学＞ ＜社会・心理・教育＞、＜言語・コミュニケーション＞
	地域人間発達支援学	2 科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
工 農 総 合 科 学 専 攻	光工学	2 科目	◎ 「幾何光学」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36 ページを参照）
	分子農学	1 科目	◎ 「分子農学」
	物質環境化学	2 科目	◎ 「応用化学基礎」 ★ 「有機化学」，「無機化学」，「物理化学」，「分析化学」， 「化学工学」のうちから 1 科目選択 ※物質環境化学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している 電卓は認められません。
	農芸化学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36 ページを参照）
	機械知能工学	2 科目	★ 「材料力学・機械材料学」，「熱と流れ」，「機械力学と制御」， 「メカトロニクス」のうちから 2 科目選択
	情報電気電子システム工学	2 科目	≪A. 「電磁エネルギー工学」，「電子物性工学」又は「情報通信システム工学」の教育研究分野を志願する者≫ ◎ 「電気磁気学」 ◎ 「電気回路」 ≪B. 上記Aに示す以外の教育研究分野を志願する者≫ ★ 「線形代数」，「微積分学」，「離散数学」，「計算機システム」， 「データ構造とアルゴリズム」のうちから 2 科目選択
	農業生産環境保全学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（37 ページを参照）
	森林生産保全学	1 科目	◎ 「森林生産保全学」 ※下記 3 グループ 6 分野における基本的事項を出題。 試験時に各グループから 1 分野ずつ選択し、計 3 分野を解答。 <1：育林学，森林遺伝育種学>，<2：森林政策学，森林計画学> <3：森林土木学，砂防工学>

(6) 試験日時及び試験場等 ※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
コミュニティデザイン学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30 13:00～	専門科目 口述試験	陽東キャンパス
建築学 土木工学 光工学 物質環境化学 機械知能工学 情報電気電子システム工学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30 13:00～	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答 口述試験	
農業土木学 分子農学 農芸化学 農業生産環境保全学 森林生産保全学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30 13:00～	専門科目 口述試験	
農業・農村経済学 グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学 地域人間発達支援学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30 13:00～	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答 口述試験	

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、受験票送付時にお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(7) 合格者発表

令和2年3月11日(水) 13時30分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。また、ホームページ掲載から 30 分後に峰キャンパス（8号館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

(8) 注意事項等

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、令和2年3月までに卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。入学手続の際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 42 ページ「ⅩⅢ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

2. 社会人特別選抜

(全ての専攻・学位プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、学長が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、学長が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 学長が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達する者

※ 社会人特別選抜における社会人とは、大学院入学の前において、大学卒業後、3 年以上の社会人経験を有する者又は義務教育修了後、5 年以上の社会人経験（高等学校、大学等に在学しながら職に就いていた期間を含む。）を有する者とします。社会人経験には、家事に従事した期間を含みます。

※ 社会人特別選抜へ出願を希望する者のうち、入学後も社会人として職業を有する者等には、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置を適用します。詳細は、39 ページを参照してください。

(2) 出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和 2 年 1 月 23 日（木）までにアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。

出願資格⑧、⑨又は⑩で出願しようとする者は、アドミッションセンター事務室へ早急に必ず問い合わせ、令和 2 年 1 月 23 日（木）までに出願資格個別審査申請の手続をしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、43 ページ「ⅩⅦ. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、相談をしてください。

(4) 出願手続

入学志願者は、下記「③出願書類及び入学検定料」に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて、下記「②出願書類提出先」へ持参又は郵送してください。

① 出願受付期間

令和2年2月10日（月）から2月13日（木）まで（ただし、祝日は除く）

持参する場合の受付時間は、9時から16時までとし、郵送の場合も出願受付期間最終日の16時までに必着のこと。

なお、出願受付期間（日時）終了後に到着したものは受理しません。

② 出願書類提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室

③ 出願書類及び入学検定料

- ◇印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙を使用してください。
- *印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙の他、本学ホームページ<<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/graduate.php>>からダウンロードした様式も利用できます。また、黒ボールペンによる自筆の他、パソコン・ワープロによる記入も認めます。
- 受理した書類等は、TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び TOEIC® L&R IP テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・ 所定の事項を裏面まで必ず記入してください。
◇写真票・受験票	全員	・ 必要事項を記入し、写真をそれぞれ所定の位置に貼ってください。 ・ 写真は、出願前3か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身（4×3cm）の2枚同じものです。
*研究計画書	全員	・ 本学所定様式により、日本語2,000字程度又は英語1,000words程度で作成してください。
卒業証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・ 34 ページ「Ⅲ. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。

出願書類	提出該当者	摘要
学位授与証明書	(1)出願資格②に該当する者	・大学改革支援・学位授与機構が作成したもの
国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生(研究留学生に限る。)、外国政府派遣留学生、JICA 留学生	・該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査(外国語(英語))を免除しますので、必ず出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学の科目等履修生及び研究生の場合、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合、出願前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。
入学検定料 (◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙)	全員	30,000円 本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座へ振り込んでください。その際、ATMは使用しないでください。振込銀行の窓口で発行される「振込受付証明書」を「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付し、提出してください。 <u>入学検定料免除の場合</u> 次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せずに、かつ、「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」に氏名とフリガナを記入の上、「免除申請」を○で囲んで提出してください。 (ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、38 ページ「V.入学検定料免除について」を参照し、「*入学検定料免除申請書」を併せて提出してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。
◇受験票返送用封筒	全員	・受験者の住所、氏名を明記の上、郵便切手(速達郵便料) 374 円を貼ってください。
◇宛名シール・志願票受付用シール	全員	・シールに所定の事項を記入してください。

④ 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので、令和2年2月27日(木)までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

(5) 選抜方法

学力検査（外国語（英語））、口述試験の結果、研究計画書及び成績証明書を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
口述試験	研究計画書の内容を含みます。

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査（外国語（英語））を免除します。

(6) 試験日時及び試験場等

※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
コミュニティデザイン学 建築学 土木工学 光工学 物質環境化学 機械知能工学 情報電気電子システム工学	令和2年 3月4日（水）	13：00～	口述試験	陽東キャンパス
農業・農村経済学 農業土木学 グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学 地域人間発達支援学 分子農学 農芸化学 農業生産環境保全学 森林生産保全学	令和2年 3月4日（水）	13：00～	口述試験	峰キャンパス

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、受験票送付時にお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可します。

(7) 合格者発表

令和2年3月11日（水） 13時30分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。また、ホームページ掲載から 30 分後に峰キャンパス（8号館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

(8) 注意事項等

指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 42 ページ「Ⅲ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

3. 外国人留学生特別選抜

(全ての専攻・学位プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者を対象とします。

- ① 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 2 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、学長が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑤ 学長が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに 22 歳に達する者

※ 日本の大学を卒業又は卒業見込みの者並びに日本の専修学校の専門課程を修了又は修了見込みの者は、外国人留学生特別選抜を受験することができません。

(2) 出願資格審査等

中華人民共和国の「高等教育自学考试」制度により学士の学位を授与された者は、令和 2 年 1 月 23 日（木）までにアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。

出願資格④又は⑤で出願しようとする者は、アドミッションセンター事務室へ早急に必ず問い合わせ、令和 2 年 1 月 23 日（木）までに「出願資格個別審査申請」の手続きをしてください。なお、この期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、43 ページ「ⅩⅦ. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、相談をしてください。

(4) 出願手続

入学志願者は、20 ページ「③出願書類及び入学検定料」に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて、下記「②出願書類提出先」へ持参又は郵送してください。

① 出願受付期間

令和 2 年 2 月 10 日（月）から 2 月 13 日（木）まで（ただし、祝日は除く）

持参する場合の受付時間は、9 時から 16 時までとし、郵送の場合も出願受付期間最終日の 16 時までに必着のこと。

なお、出願受付期間（日時）終了後に到着したものは受理しません。

② 出願書類提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室

③ 出願書類及び入学検定料

- ◇印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙を使用してください。
- *印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙の他、本学ホームページ <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/graduate.php> からダウンロードした様式も利用できます。また、黒ボールペンによる自筆の他、パソコン・ワープロによる記入も認めます。
- 受理した書類等は、*TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)* の公式認定証「Official Score Certificate」原本、*TOEIC® L&R IP* テストの「個人成績表」原本、及び日本語能力試験の「合否結果通知書」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・ 所定の事項を裏面まで必ず記入してください。
◇写真票・受験票	全員	・ 必要事項を記入し、写真をそれぞれ所定の位置に貼ってください。 ・ 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身（4 × 3 cm）の 2 枚同じものです。
* 研究計画書	コミュニティデザイン学, グローバル・エリアスタディーズ及び多文化共生学プログラム出願者	・ 本学所定様式により、日本語 1,000 字程度又は英語 500words 程度で作成してください。
卒業証明書, 又は卒業見込証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
外国語（英語又は日本語）の能力試験に関する書類	全員	・ 34 ページ「Ⅲ. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
国費外国人留学生, 外国政府派遣留学生及び JICA 留学生に関する証明書	国費外国人留学生(研究留学生に限る。), 外国政府派遣留学生, JICA 留学生	・ 該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査（外国語及び専門科目）を免除しますので、必ず出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。

出願書類	提出該当者	摘要
住民票	全員	・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学の科目等履修生及び研究生の場合、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合、出願前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。
入学検定料 (◇入学検定料振込 受付証明書貼付 台紙)	全員	30,000円 本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座へ振り込んでください。その際、ATMは使用しないでください。振込銀行の窓口で発行される「振込受付証明書」を「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付し、提出してください。 <u>入学検定料免除の場合</u> 次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せず、かつ、「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」に氏名とフリガナを記入の上、「免除申請」を○で囲んで提出してください。 (ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、38 ページ「V.入学検定料免除について」を参照し、「*入学検定料免除申請書」を併せて提出してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。
◇受験票返送用封筒	全員	・受験者の住所、氏名を明記の上、郵便切手（速達郵便料）374 円を貼ってください。
◇宛名シール・志願 票受付用シール	全員	・シールに所定の事項を記入してください。

④ 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので、令和2年2月27日（木）までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

(5) 選抜方法

学力検査（専門科目及び外国語）、口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要						
外国語	英語（ <i>TOEIC</i> ® L&R 又は <i>TOEFL</i> ®）若しくは日本語（日本留学試験又は日本語能力試験）のスコアを換算します。						
専門科目	以下の＜外国人留学生特別選抜専門科目一覧＞を確認してください。 ※ 次の学位プログラムでは、専門科目の試験において、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）の持ち込みを認めます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>専攻</th><th>学位プログラム</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会デザイン科学専攻</td><td> コミュニティデザイン学プログラム 農業・農村経済学プログラム 建築学プログラム 土木工学プログラム 農業土木学プログラム 多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム </td></tr> <tr> <td>工農総合科学専攻</td><td>全ての学位プログラム</td></tr> </tbody> </table>	専攻	学位プログラム	社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学プログラム 農業・農村経済学プログラム 建築学プログラム 土木工学プログラム 農業土木学プログラム 多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム	工農総合科学専攻	全ての学位プログラム
専攻	学位プログラム						
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学プログラム 農業・農村経済学プログラム 建築学プログラム 土木工学プログラム 農業土木学プログラム 多文化共生学プログラム 地域人間発達支援学プログラム						
工農総合科学専攻	全ての学位プログラム						
口述試験	学位プログラムごとで行います。						

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査（専門科目及び外国語）を免除します。

＜外国人留学生特別選抜専門科目一覧＞

◎：必須科目 △：選択科目（出願時に届け出） ★：選択科目（試験時に選択）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学	1 科目	◎ 「コミュニティデザイン学」
	農業・農村経済学	2 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照） △ 農業・農村経済学プログラムの専門科目のうち、「志願する教育研究分野」以外の専門科目（35 ページを参照）
	建築学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照） ※建築学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している電卓は認められません。
	土木工学	2 科目	◎ 「土木工学基礎」 ※＜力学＞及び＜数学＞について出題。 ◎ 「土木工学一般」 ※下記 6 分野から出題。試験時に 3 分野を選択し解答。 ＜構造＞、＜水理＞、＜土質＞、＜計画＞、＜材料＞、 ＜マネジメント（プロジェクトマネジメント・防災マネジメント）＞
	農業土木学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	グローバル・エリアスタディーズ	2科目	◎ 「グローバル・スタディーズ（小論文）」 ◎ 「エリア・スタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	2科目	◎ 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」 ◎ 「多文化共生学Ⅱ」 ※下記4分野から出題。試験時に1分野を選択し解答。 <u>〈思想・藝術・歴史〉</u> , <u>〈文化・比較文化、文学・比較文学〉</u> <u>〈社会・心理・教育〉</u> , <u>〈言語・コミュニケーション〉</u>
	地域人間発達支援学	2科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35ページを参照）
工農総合科学専攻	光工学	2科目	◎ 「幾何光学」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36ページを参照）
	分子農学	1科目	◎ 「分子農学」
	物質環境化学	2科目	◎ 「応用化学基礎」 ★ 「有機化学」, 「無機化学」, 「物理化学」, 「分析化学」, 「化学工学」のうちから1科目選択 ※物質環境化学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している電卓は認められません。
	農芸化学	1科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36ページを参照）
	機械知能工学	2科目	★ 「材料力学・機械材料学」, 「熱と流れ」, 「機械力学と制御」, 「メカトロニクス」のうちから2科目選択
	情報電気電子システム工学	2科目	≪A. 「電磁エネルギー工学」, 「電子物性工学」又は「情報通信システム工学」の教育研究分野を志願する者≫ ◎ 「電気磁気学」 ◎ 「電気回路」 ≪B. 上記Aに示す以外の教育研究分野を志願する者≫ ★ 「線形代数」, 「微積分学」, 「離散数学」, 「計算機システム」, 「データ構造とアルゴリズム」のうちから2科目選択
	農業生産環境保全学	1科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（37ページを参照）
	森林生産保全学	1科目	◎ 「森林生産保全学」 ※下記3グループ6分野における基本的事項を出題。 試験時に各グループから1分野ずつ選択し、計3分野を解答。 <1: <u>育林学</u> , <u>森林遺伝育種学</u> >, <2: <u>森林政策学</u> , <u>森林計画学</u> > <3: <u>森林土壌学</u> , <u>砂防工学</u> >

(6) 試験日時及び試験場等 ※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
コミュニティデザイン学 建築学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30	専門科目	陽東キャンパス
		13:00～	口述試験	
土木工学 光工学 物質環境化学 機械知能工学 情報電気電子システム工学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答	
		13:00～	口述試験	
農業土木学 分子農学 農芸化学 農業生産環境保全学 森林生産保全学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30	専門科目	峰キャンパス
		13:00～	口述試験	
農業・農村経済学 グローバル・エアスタディーズ 多文化共生学 地域人間発達支援学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答	
		13:00～	口述試験	

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、受験票送付時にお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(7) 合格者発表

令和2年3月11日(水) 13時30分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。また、ホームページ掲載から 30 分後に峰キャンパス（8号館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

(8) 注意事項等

- ① 出願資格①②③の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、令和2年3月までに卒業又は修了しなかった場合は、合格を取り消します。入学手続の際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 42 ページ「ⅩⅢ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

4. 学部3年次生特別選抜

(全ての専攻・学位プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

我が国において、令和2年3月末までに大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと地域創生科学研究科において認める者を対象とします。

この資格に定める者の範囲は、次の全ての要件を満たす者とします。

- ① 令和2年3月末において、大学在学期間が3年間（休学期間を除く。）に達すること。
- ② 令和2年3月末において、3年次までに修得する必要がある必修科目の全部（基盤教育関係科目を含む。）及びそれを含めて、卒業要件単位数の4/5以上の単位を修得見込みであり、かつ、総修得単位の4/5以上が優以上の評語（点数評価の場合は100点満点で80点以上）を得る見込みであること。
- ③ 在籍する大学の学部長又は学科長等の推薦を得ていること。

※ 大学を卒業した者及び令和2年3月31日までに卒業見込み（早期卒業見込みを含む。）の者は、学部3年次生特別選抜を受験できません。

※ 学部3年次生特別選抜により入学した者は、学部を退学したものとして扱われます。したがって、種々の国家試験等の資格試験において、大学の学部を卒業していることを受験資格要件とするものについては、受験資格がないことになります。

(2) 出願資格認定手続

出願しようとする者は、アドミッションセンター事務室へ早急に必ず問い合わせ、令和2年1月23日（木）までに「出願資格個別審査申請の手続」をしてください。なお、出願資格個別審査の際には在学する大学の長が作成した「在学期間証明書（本学で指定する事項を明記したもの）」、「成績証明書（3年次前期までの成績が載っているもの）」、3年次後期の履修科目が分かる「履修登録確認表」等及び在学する大学（所属学部・学科）の「履修案内」写し等が必要となります。また、この期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、43ページ「ⅩⅦ. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、相談をしてください。

(4) 出願手続

入学志願者は、下記「③出願書類及び入学検定料」に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて、下記「②出願書類提出先」へ持参又は郵送してください。

① 出願受付期間

令和2年2月10日（月）から2月13日（木）まで（ただし、祝日は除く）

持参する場合の受付時間は、9時から16時までとし、郵送の場合も出願受付期間最終日の16時までに必着のこと。

なお、出願受付期間（日時）終了後に到着したものは受理しません。

② 出願書類提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室

③ 出願書類及び入学検定料

- ・ ◇印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙を使用してください。
- ・ ＊印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙の他、本学ホームページ<<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/graduate.php>>からダウンロードした様式も利用できます。また、黒ボールペンによる自筆の他、パソコン・ワープロによる記入も認めます。

- ・ 受理した書類等は、*TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R)* の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び *TOEIC® L&R IP* テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求め場合があります。
- ・ 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- ・ 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ・ 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・ 所定の事項を裏面まで必ず記入してください。
◇写真票・受験票	全員	・ 必要事項を記入し、写真をそれぞれ所定の位置に貼ってください。 ・ 写真は、出願前 3 か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身（4×3 cm）の 2 枚同じものです。
*推薦書	全員	・ 在籍する大学の学部長又は学科長が作成し、厳封したもの
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 本学に在学中の者は、証明書自動発行機を利用し、厳封する必要はありません。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・ 34 ページ「Ⅲ. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・ 市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・ 本学に在学中の者は、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。
入学検定料 (◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙)	全員	30,000円 本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座へ振り込んでください。その際、ATMは使用しないでください。振込銀行の窓口で発行される「振込受付証明書」を「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付し、提出してください。 <u>入学検定料免除の場合</u> 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、入学検定料を納付せずに、かつ、「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」に氏名とフリガナを記入の上、「免除申請」を○で囲んで提出してください。 また、38 ページ「Ⅴ.入学検定料免除について」を参照し、「*入学検定料免除申請書」を併せて提出してください。

出願書類	提出該当者	摘要
◇受験票返送用封筒	全員	・受験者の住所、氏名を明記の上、郵便切手（速達郵便料）374 円を貼ってください。
◇宛名シール・志願票受付用シール	全員	・シールに所定の事項を記入してください。

④ 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので、令和2年2月27日（木）までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

(5) 選抜方法

学力検査（専門科目及び外国語（英語））、口述試験の結果及び成績証明書等を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
専門科目	以下の＜学部3年次生特別選抜専門科目一覧＞を確認してください。
口述試験	学位プログラムごとで行います。

＜学部3年次生特別選抜専門科目一覧＞

◎：必須科目 △：選択科目（出願時に届け出） ★：選択科目（試験時に選択）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学	1科目	◎ 「コミュニティデザイン学」
	農業・農村経済学	2科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35ページを参照） △ 農業・農村経済学プログラムの専門科目のうち、「志願する教育研究分野」以外の専門科目（35ページを参照）
	建築学	2科目	◎ 「建築学基礎」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35ページを参照） ※建築学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している電卓は認められません。
	土木工学	2科目	◎ 「土木工学基礎」 ※＜力学＞及び＜数学＞について出題。 ◎ 「土木工学一般」 ※下記6分野から出題。試験時に3分野を選択し解答。 ＜構造＞、＜水理＞、＜土質＞、＜計画＞、＜材料＞、 ＜マネジメント（プロジェクトマネジメント・防災マネジメント）＞
	農業土木学	1科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35ページを参照）

専攻	学位プログラム	科目数	専門科目
社会デザイン科学専攻	グローバル・エリアスタディーズ	2 科目	◎ 「グローバル・スタディーズ（小論文）」 ◎ 「エリア・スタディーズ（小論文）」
	多文化共生学	2 科目	◎ 「多文化共生学Ⅰ（小論文）」 ◎ 「多文化共生学Ⅱ」 ※下記 4 分野から出題。試験時に 1 分野を選択し解答。 <u>＜思想・藝術・歴史＞</u> ， <u>＜文化・比較文化＞</u> ， <u>＜文学・比較文学＞</u> <u>＜社会・心理・教育＞</u> ， <u>＜言語・コミュニケーション＞</u>
	地域人間発達支援学	2 科目	◎ 「地域人間発達支援学（小論文）」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（35 ページを参照）
工農総合科学専攻	光工学	2 科目	◎ 「幾何光学」 ◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36 ページを参照）
	分子農学	1 科目	◎ 「分子農学」
	物質環境化学	2 科目	◎ 「応用化学基礎」 ★ 「有機化学」，「無機化学」，「物理化学」，「分析化学」，「化学工学」のうちから 1 科目選択 ※物質環境化学プログラムでは、電卓の持ち込みを認めます。 ただし、携帯電話・スマートフォン等の電子機器類に付属している電卓は認められません。
	農芸化学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（36 ページを参照）
	機械知能工学	2 科目	★ 「材料力学・機械材料学」，「熱と流れ」，「機械力学と制御」，「メカトロニクス」のうちから 2 科目選択
	情報電気電子システム工学	2 科目	≪A. 「電磁エネルギー工学」，「電子物性工学」又は「情報通信システム工学」の教育研究分野を志願する者≫ ◎ 「電気磁気学」 ◎ 「電気回路」
			≪B. 上記Aに示す以外の教育研究分野を志願する者≫ ★ 「線形代数」，「微積分学」，「離散数学」，「計算機システム」，「データ構造とアルゴリズム」のうちから 2 科目選択
	農業生産環境保全学	1 科目	◎ 志願する教育研究分野の専門科目（37 ページを参照）
	森林生産保全学	1 科目	◎ 「森林生産保全学」 ※下記 3 グループ 6 分野における基本的事項を出題。 試験時に各グループから 1 分野ずつ選択し、計 3 分野を解答。 <1：育林学，森林遺伝育種学>，<2：森林政策学，森林計画学> <3：森林土木学，砂防工学>

(6) 試験日時及び試験場等 ※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
コミュニティデザイン学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30 13:00～	専門科目 口述試験	陽東キャンパス
建築学 土木工学 光工学 物質環境化学 機械知能工学 情報電気電子システム工学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30 13:00～	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答 口述試験	
農業土木学 分子農学 農芸化学 農業生産環境保全学 森林生産保全学	令和2年 3月4日(水)	9:30～10:30 13:00～	専門科目 口述試験	
農業・農村経済学 グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学 地域人間発達支援学	令和2年 3月4日(水)	9:30～11:30 13:00～	専門科目 ※時間を区分せずに、 120分で2科目を解答 口述試験	
				峰キャンパス

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、受験票送付時にお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可しますが、試験時間の延長は認めません。

(7) 合格者発表

令和2年3月11日(水) 13時30分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。また、ホームページ掲載から 30 分後に峰キャンパス（8号館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

(8) 注意事項等

- ① 学部3年次生特別選抜で合格した後、令和2年3月までに上記「(1) 出願資格」に定める所定の要件を欠いた場合は、合格を取り消します。
- ② 合格後は、令和2年3月31日までに、(1) 出願資格を満たしたことを確認できる証明書（在籍した大学の長が作成した「退学証明書（または「退学願受理証明書」等）」、1～3年次までのすべての成績が載っている「成績証明書」及び「在学期間証明書（本学で指定する事項を明記したもの）」）を提出する必要があります。
- ③ 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 42 ページ「X Ⅲ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

5. 国際交流・国際貢献活動経験者特別選抜

(グローバル・エリアスタディーズプログラム及び多文化共生学プログラムにおいて実施します。)

(1) 出願資格

令和2年3月31日現在において、1年以上の国際交流・国際貢献活動(青年海外協力隊、NGO・NPO等における活動)の経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- ① 大学を卒業した者及び令和2年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑧ 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、学長が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者で、学長が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 学長が個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達する者

(2) 出願資格審査等

出願資格⑥で出願しようとする者は、令和2年1月23日(木)までにアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。

出願資格⑧、⑨又は⑩で出願しようとする者は、アドミッションセンター事務室へ早急に必ず問い合わせ、令和2年1月23日(木)までに出願資格個別審査申請の手続をしてください。なお、期限を過ぎた申請は受理しません。

(3) 出願前の希望指導教員との事前連絡・相談

出願にあたっては、43ページ「ⅩⅦ. 研究指導教員一覧」を確認の上、指導を希望する教員と必ず事前に連絡を取り、相談をしてください。

(4) 出願手続

入学志願者は、下記「③出願書類及び入学検定料」に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて、下記「②出願書類提出先」へ持参又は郵送してください。

① 出願受付期間

令和2年2月10日（月）から2月13日（木）まで（ただし、祝日は除く）

持参する場合の受付時間は、9時から16時までとし、郵送の場合も出願受付期間最終日の16時までに必着のこと。

なお、出願受付期間（日時）終了後に到着したものは受理しません。

② 出願書類提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学アドミッションセンター事務室

③ 出願書類及び入学検定料

- ◇印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙を使用してください。
- *印の出願書類は、学生募集要項に添付のある本学所定用紙の他、本学ホームページ<<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/graduate.php>>からダウンロードした様式も利用できます。また、黒ボールペンによる自筆の他、パソコン・ワープロによる記入も認めます。
- 受理した書類等は、TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) の公式認定証「Official Score Certificate」原本及び TOEIC® L&R IP テストの「個人成績表」原本を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 出願書類のうち、日本語及び英語以外のものは、訳文の提出を求める場合があります。
- 受理した書類等の内容変更は認めません。なお、現住所、連絡場所又は電話番号に変更が生じた場合は、速やかにアドミッションセンター事務室へ連絡してください。
- 提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- 入学検定料は、出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	提出該当者	摘要
◇入学志願票	全員	・ 所定の事項を裏面まで必ず記入してください。
◇写真票・受験票	全員	・ 必要事項を記入し、写真をそれぞれ所定の位置に貼ってください。 ・ 写真は、出願前3か月以内に撮影した脱帽・正面・上半身（4×3cm）の2枚同じものです。
*研究計画書	全員	・ 本学所定様式により、日本語1,000字程度又は英語500words程度で作成してください。
*国際交流・国際貢献活動の概要	全員	・ 本学所定様式により、日本語1,000字程度又は英語500words程度で作成してください。
卒業証明書、又は卒業見込証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成したもの ・ 卒業証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
成績証明書	全員	・ 最終学校の学長又は学校長が作成し、厳封したもの ・ 本学を卒業見込みの者は、証明書自動発行機を利用し、厳封する必要はありません。 ・ 成績証明書が発行されない国や地域の大学等を卒業した者は、出願前にアドミッションセンター事務室へ必ず相談してください。
TOEIC, TOEFL に関する書類	全員	・ 34 ページ「Ⅲ. 外国語の検査について」に従い、指定されたスコアシートを提出してください。

出願書類	提出該当者	摘要
国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及びJICA留学生に関する証明書	国費外国人留学生(研究留学生に限る。)、外国政府派遣留学生、JICA 留学生	・該当する者は、確認書類を提出することにより学力検査(外国語(英語))を免除しますので、必ず出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせ、提出する証明書等について相談してください。
学位授与証明書等	(1)出願資格②に該当する者	・大学改革支援・学位授与機構が作成したもの ・授与される見込みの場合は、学位授与証明書に代えて、在籍する学校長等が作成した学位授与申請することの証明書を提出してください。
住民票	日本の国籍を有しない者	・市区町村長から交付された在留資格及び在留期間の記載があり、マイナンバーの記載がないもの ・本学に在学中の者(科目等履修生及び研究生を含む。)は、住民票を提出する必要はありません。住民票の代わりに学生証の写しを提出してください。 ・日本に在住していない場合、出願前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。
入学検定料 (◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙)	全員	30,000円 本学所定の銀行振込用紙を用い、本学の取引銀行(足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行)のいずれかの口座へ振り込んでください。その際、ATMは使用しないでください。振込銀行の窓口で発行される「振込受付証明書」を「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付し、提出してください。 <u>入学検定料免除の場合</u> 次の(ア)又は(イ)のいずれかにより入学検定料免除を申請する場合は、入学検定料を納付せずに、かつ、「◇入学検定料振込受付証明書貼付台紙」に氏名とフリガナを記入の上、「免除申請」を○で囲んで提出してください。 (ア) 地震、風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は、38 ページ「V.入学検定料免除について」を参照し、「*入学検定料免除申請書」を併せて提出してください。 (イ) 国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者は、所定の届け出により入学検定料を免除するので、出願前にアドミッションセンター事務室へ問い合わせてください。
◇受験票返送用封筒	全員	・受験者の住所、氏名を明記の上、郵便切手(速達郵便料)374 円を貼ってください。
◇宛名シール・志願票受付用シール	全員	・シールに所定の事項を記入してください。

④ 受験票の送付

出願受付期間終了後に受験票を送付しますので、令和2年2月27日(木)までに到着しない場合は、アドミッションセンター事務室へ申し出てください。

(5) 選抜方法

学力検査（外国語（英語））、口述試験の結果、研究計画書、国際交流・国際貢献活動の概要及び成績証明書を総合して行います。

試験科目	摘要
外国語（英語）	TOEIC® L&R 又は TOEFL®スコアを換算します。
口述試験	研究計画書及び国際交流・国際貢献活動の概要の内容を含みます。

国費外国人留学生、外国政府派遣留学生及び JICA 留学生は、学力検査（外国語（英語））を免除します。

(6) 試験日時及び試験場等

学位プログラム	試験日	試験時間	試験区分	試験場
グローバル・エリアスタディーズ 多文化共生学	令和2年 3月4日（水）	13：00～	口述試験	<u>峰キャンパス</u>

※ 試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。

※ 試験当日の集合場所については、受験票送付時にお知らせします。集合時刻（試験開始 30 分前）までに集合場所へ到着し、受付を済ませてください。指定時刻までに集合できない場合、原則、試験開始後 30 分までは受験を許可します。

(7) 合格者発表

令和2年3月11日（水） 13時30分

合格者の受験番号を本学ホームページ<<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>>に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。また、ホームページ掲載から 30 分後に峰キャンパス（8 号館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示します。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

(8) 注意事項等

- ① 出願資格①②③④⑤⑥の卒業見込み又は修了見込みにより出願したが、令和2年3月までに卒業又は修了しなかった場合あるいは学士の学位を授与されなかった場合は、合格を取り消します。入学手続の際に確認できる証明書の提出を求めます。
- ② 指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は 42 ページ「ⅩⅢ. 各学位プログラムへの問い合わせ先」を確認の上、記載の連絡先へ問い合わせてください。

Ⅲ. 外国語の検査について

全ての選抜区分において、本学独自の筆記試験を行わずに、外国語外部試験のスコアをもって外国語の成績として判定します。次に示すいずれか1つのスコアシートを出願時に提出してください。

※③日本留学試験及び④日本語能力試験は、外国人留学生特別選抜を志願する者のみ選択できます。

言語	利用する外部試験	摘要
英語	①TOEIC® Listening & Reading Test (TOEIC® L&R) (公開テスト, IP テスト)	・2017 年 4 月以降に実施された TOEIC® L&R の公式認定証「Official Score Certificate」の原本又は各種団体が主催する IP テスト (カレッジ TOEIC を含む。) のスコアレポート「個人成績表」の原本を提出してください。 ・TOEIC® S&W テスト及び TOEIC Bridge®のスコアは受け付けません。 ・提出された原本は、出願受付後、受験票と併せて返却します。返却の際に、書類を折りたたむことがあります。 ※ 第 247 回公開テスト (2020 年 1 月 12 日実施) のスコアを提出しようとする場合は、出願受付期間より前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。
	②TOEFL® (iBT, PBT, 改訂版ペーパー版)	・2017 年 4 月以降に実施された TOEFL®テストの公式スコアレポート「Official Score Report」または「Institutional Score Report」が必要です。「Official Score Report」または「Institutional Score Report」が、TOEFL®試験運営機関である米国 ETS から本学へ出願受付期間最終日までに本学へ届くよう、受験者本人から米国 ETS に発行を申請してください。 ・申請から本学到着まで約 2 か月程度を要するので早めに申請する必要があります。宇都宮大学の団体コードは「7976」です。 ・出願受付期間までに「Official Score Report」または「Institutional Score Report」が米国 ETS から本学へ未着の場合は、出願を受け付けません。 ・併せて、出願書類には受験者用控えスコア「Test Taker (又は Examinee) Score Report」の写しを同封してください。 ※ TOEFL iBT®「Institutional Score Report」を出願書類とする場合は Test Date スコアを使用します。(MyBest™ スコアは使用しません。)
日本語 (※)	③日本留学試験「日本語」	・2018 年第 1 回試験 (6 月) 以降の日本留学試験「成績通知書」の写しを同封してください。(出願受付後、本学から日本学生支援機構へ出願者の成績を照会します。)
	④日本語能力試験 (N1 又は N2 を取得したもの)	・2017 年第 1 回試験 (7 月) 以降の日本語能力試験「日本語能力認定書」の原本及び「可否結果通知書」の原本を提出してください。 ・提出された原本は、出願受付後、受験票と併せて返却します。返却の際に、書類を折りたたむことがあります。 ※ 日本国内で受験した 2019 年第 2 回 (12 月) 試験のスコアを提出しようとする場合は、出願受付期間より前にアドミッションセンター事務室へ相談してください。 ※ ただし、日本以外の国や地域で受験した 2019 年第 2 回 (12 月) 試験の成績は、その成績通知時期の関係により、今回の入学試験に利用できません。

IV. 教育研究分野別の専門科目一覧（一般選抜，外国人留学生特別選抜，学部３年次生特別選抜）

一般選抜，外国人留学生特別選抜及び学部３年次生特別選抜において，学位プログラム・教育研究分野別に指定する「専門科目」の一覧です。

専攻	学位プログラム	教育研究分野	専門科目
社会デザイン科学専攻	農業・農村経済学	農業経営学	「農業経営学」
		農業史	「農業史」
		農業政策学	「農政学」
		食料経済学	「農業経済学」
		環境経済学	「ミクロ・マクロ経済学」
		地域社会学	「地域社会学」
		農業地理学・農村地理学	「農業地理学」
	建築学	建築構造	「建築構造」
		建築鋼構造	
		建築計画・環境心理	「建築計画」
		都市計画・建築計画	
		建築環境設備	「建築環境」
		建築環境・都市環境	
		建築環境・設備	
		建築都市環境・環境建築	
		建築材料・構造	「建築材料」
		建築材料	
		建築材料・構法	
		建築意匠・建築設計・都市デザイン	「建築設計」
	農業土木学	水利環境工学	「水利環境工学」
		土壌・生物環境物理学	「土壌・生物環境物理学」
		農地環境保全学	「農地環境保全学」
		農村計画学	「農村計画学」
		国際農業環境学	「国際農業環境学」
		農村生態工学	「農村生態工学」
	地域人間発達支援学	教育学（教育哲学）	「教育・心理学」
		感情社会学	「教科教育・教育社会学」
		教科教育学（社会科教育学）	
		運動学・身体発達学	「スポーツ・健康科学」
		運動生理学	
		教育工学・情報教育	「情報学」
		声楽・音楽教育	「音楽」
		音楽表現学・音楽教育	
		工芸・美術	「美術」
		絵画技法・芸術学	

専攻	学位プログラム	教育研究分野	専門科目
工 農 総 合 科 学 専 攻	光工学	偏光工学，光計測，オプトメカトロニクス	「波動光学」
		情報フォトンクス，レーザー加工，計算イメージング	
		プラズマ理工学	
		可視化情報学	
		光力学，数理光物理学	
		応用光工学，ナノフォトンクス	
		情報フォトンクス	
		光プロセッシング，光情報処理，光計測	
		応用光学	
		光通信工学，ポリマーフォトンクス	「物理光学」
		生物光学，バイオイメージング	
		感性情報学	「線形代数」，「微積分学」， 「離散数学」，「計算機システム」， 「データ構造とアルゴリズム」の うちから，試験時に1科目選択
		知覚情報処理	
	農芸化学	生物化学	「生物化学」
		生物機能化学	
		食品化学	「食品化学」
		食品生化学	「食品生化学」
		天然物有機化学	「天然物有機化学」
		応用微生物学	「応用微生物学」
		生物高分子材料学	「生物高分子材料学」
		高分子材料化学	
		天然物化学	「天然物化学」
		栄養制御学	「栄養機能調節学」
		森林化学	「森林化学」
		木材材料学	「木材組織学」
		有機化学	「構造有機化学」

専攻	学位プログラム	教育研究分野	専門科目
工 農 総 合 科 学 専 攻	農業生産環境保全学	作物栽培学	「作物学」
		園芸学	「園芸学」
		農業環境微生物学	「植物・土壤微生物学」
		土壤圏科学	「土壤学」
		植物栄養・肥料学	「植物栄養・肥料学」
		地質学	「地質学」
		作物生産環境学	「作物生産技術学」
		園芸フィールド生理学	「園芸フィールド生理学」
		動物機能形態学	「動物生理学」
		動物形態学	「動物形態学」
		動物繁殖生理学	「家畜生産学」
		植物育種学	「植物育種学」
		応用昆虫学	「応用昆虫学」
		昆虫機能利用学	「分子昆虫学」
		雑草学	「雑草学」
		植生学	「植物生態学」
		保全生物学	「野生動物管理学」
		生物環境情報工学	「生物環境情報工学」
		生物環境調節学	「生物環境調節学」
		圃場機械学	「圃場機械学」
		ポストハーベストテクノロジー	「生産流通システム工学」
		生物環境システム学	「環境影響評価」
		食品流通工学	「食品流通工学」

V. 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成 23 年 3 月以降に災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

⑦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

- （ア） 全壊
- （イ） 大規模半壊
- （ウ） 半壊

⑧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成 11 年法律第 156 号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

- （ア） 警戒区域
- （イ） 計画的避難区域
- （ウ） 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア⑦並びに⑧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

⑦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

⑧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめアドミッションセンター事務室まで問い合わせください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付についてアドミッションセンター事務室から電話にて連絡します。

VI. 入学手続

（１）入学手続日

令和 2 年 3 月 18 日（水）・3 月 19 日（木）

詳細については、合格者に対し、改めて連絡します。

（２）提出書類

提出書類は、「受験票」及び本学の指定する書類とします。「受験票」は入学手続時に必要となるので、紛失しないよう大切に保管してください。

Ⅶ. 入学料及び授業料等

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円(年額)

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 授業料は、半期分(267,900円)をそれぞれ指定期日までに納付してください。

(2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料

2,430円 (2年間分)[平成31年4月現在]

Ⅷ. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

「社会人特別選抜」で出願しようとする者のうち、教育上特別の必要があると認められる場合には、入学後の履修について、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を認めることがあります。

本特例に基づき、地域創生科学研究科では必要に応じて、夜間開講(通常の授業時間帯以降の時間帯(17時50分から21時))、同一授業科目の週2回の開講、修了課題に必要な研究・調査等の期間を集約するなどの配慮をいたします。教育方法の特例措置を希望する場合は、指導を希望する教員と実施方法等について必ず出願前に相談の上、出願書類「入学志願票」の教育方法の特例措置の欄に☑を記入してください。

※大学院設置基準第14条

大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

Ⅸ. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等により標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了できるようにするものです。教育課程表や履修すべき総単位数は2年で修了するものと同じですから、単年度の時間的負担は相当軽減されることになります。

長期履修学生として認められますと、通常2年の大学院修了年限のところを、例えば3年間で修了することができます。この間の授業料は、2年分を3年に分割して納入することになります。すなわち2年間(4学期)の授業料を3年間(6学期)に分割して納めるために、年当たりの負担額は少なくなります。(ただし、授業料が改訂された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。)

長期履修学生として認められるためには、必要書類を添付の上、宇都宮大学長に申請して許可を得ることが必要となります。

なお、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて6年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については、留年扱いとなって、通常の授業料が適用されることになります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を1回に限り延長(3年を4年に)又は短縮(4年を3年に)することもできます。

これらの申請期間は、以下のとおりです。

(1) 新規申請

① 入学時に申請する場合

当該入学年度開始前の3月の入学手続期間中

② 在学中に申請する場合

長期履修開始前年度の2月末日まで

(2) 長期履修期間の延長及び短縮

長期履修期間の延長を希望する場合は、許可されている長期履修期間が終了する月の前月末日までに、短縮を希望する場合は、修了を予定する月の前月末日までに、長期履修期間変更願を提出してください。

本制度に関する問い合わせは、陽東学務課（電話 028-689-6014）において受け付けます。
なお、詳細については、合格者に対し改めて通知します。

X. 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までできるだけ早い時期にアドミッションセンター事務室との相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

(1) 事前相談の期限

令和2年1月23日（木）まで

(2) 事前相談申請書の提出

事前相談申請書（様式任意）に次の内容を記載し、医師の診断書を添えてアドミッションセンター事務室へ提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類、専攻・学位プログラム名
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

XI. 奨学金制度

奨学金を希望する場合は、本学ホームページで確認してください。

<<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/exemption.php>>

本制度に関する問い合わせは、学生支援課において受け付けます。

Ⅷ. 試験場案内図

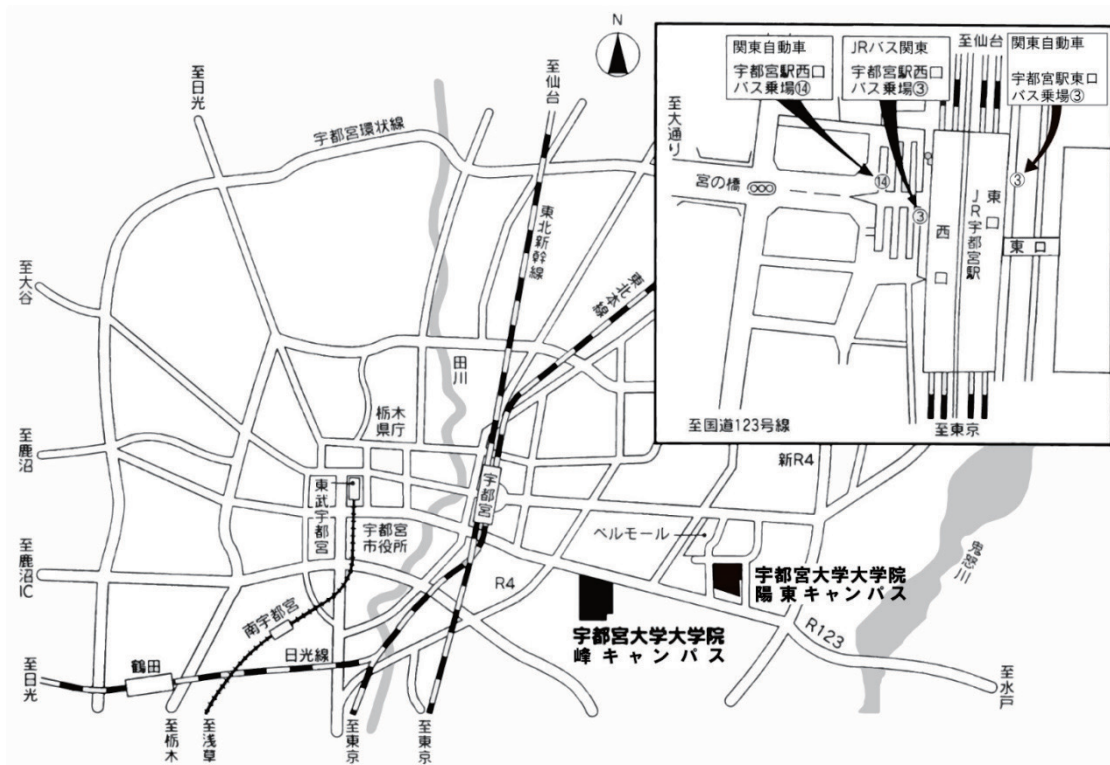
※受験する学位プログラムによって、試験場が異なります。試験場を十分に確認してください。

東京都内から本学最寄駅までのアクセス

- | | | |
|------------------|---|-------------|
| ○東京駅から J R 宇都宮駅 | J R 東北新幹線利用 | 約 1 時間 |
| | J R 上野東京ライン、宇都宮線利用 | 約 2 時間 |
| ○新宿駅から J R 宇都宮駅 | J R 湘南新宿ライン、東北新幹線利用（大宮駅乗換） | 約 1 時間 15 分 |
| | J R 湘南新宿ライン、宇都宮線利用 | 約 1 時間 50 分 |
| ○浅草駅から東武宇都宮駅 | 東武スカイツリーライン、東武日光線、東武宇都宮線利用（曳舟、南栗橋、新栃木駅など乗換） | 約 2 時間 30 分 |
| ○羽田空港から J R 宇都宮駅 | 東京空港交通（高速バス）利用 | 約 3 時間 |

仙台から本学最寄駅までの所要時間

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| ○仙台駅から J R 宇都宮駅 | J R 東北新幹線利用 | 約 1 時間 20 分 |
|-----------------|-------------|-------------|



本学最寄駅から各キャンパスまでのアクセス

◎峰キャンパス（J R 宇都宮駅から約 2.2km）

- J R バス関東（清原台団地、芳賀町役場、芳賀バスターミナル、祖母井、茂木、ベルモール行など）
J R 宇都宮駅西口バス乗場③から乗車～「宇大前」下車 約 10 分
- 関東自動車（真岡、益子、卸団地循環、海星学院、ベルモール行など）
J R 宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車～「宇都宮大学前」下車 約 10 分
東武宇都宮駅バス乗場から乗車～「宇都宮大学前」下車 約 20 分
- 関東自動車（宇大循環線（左回り）または（右回り））
J R 宇都宮駅東口バス乗場③から乗車～「宇都宮大学前」下車 （左回り）約 10 分、（右回り）約 30 分

◎陽東キャンパス（J R 宇都宮駅から約 4.2km）

- J R バス関東（芳賀町役場、芳賀バスターミナル、茂木、ベルモール行など）
J R 宇都宮駅西口バス乗場③から乗車～「工学部前」下車 約 15 分
- 関東自動車（真岡、益子、海星学院、ベルモール行）
J R 宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車～「工学部前」下車 約 15 分
東武宇都宮駅バス乗場から乗車～「工学部前」下車 約 25 分
- 関東自動車（宇大循環線（左回り）または（右回り））
J R 宇都宮駅東口バス乗場③から乗車～「宇大工学部正門」下車 （左回り）約 15 分、（右回り）約 25 分

XII. 各学位プログラムへの問い合わせ先

指導を希望する教員への連絡先が分からない等、各専攻及び各学位プログラムに関する照会は、以下の連絡先へ問い合わせてください。

専攻	学位プログラム	連絡先
社会デザイン科学専攻	コミュニティデザイン学プログラム	m-cds@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	農業・農村経済学プログラム	m-agriecon@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	建築学プログラム	m-archi@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	土木工学プログラム	m-civil@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	農業土木学プログラム	m-idre@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	グローバル・エリアスタディーズプログラム	m-gas@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	多文化共生学プログラム	m-mcult@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	地域人間発達支援学プログラム	m-hdev@cc.utsunomiya-u.ac.jp
工農総合科学専攻	光工学プログラム	m-opt@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	分子農学プログラム	m-molagri@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	物質環境化学プログラム	m-matlchem@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	農芸化学プログラム	m-biolchem@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	機械知能工学プログラム	m-mech@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	情報電気電子システム工学プログラム	m-isee@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	農業生産環境保全学プログラム	m-agrisci@cc.utsunomiya-u.ac.jp
	森林生産保全学プログラム	m-forest@cc.utsunomiya-u.ac.jp

XV. 研究指導教員一覧

地域創生科学研究科において研究指導を行う教員の一覧です。

志願する学位プログラムのページから、教育研究分野を参考に希望する指導教員を1名選び、必ず出願前に教員と連絡を取って相談した上で、出願書類「入学志願票」及び「写真票・受験票」に希望指導教員名を記入してください。

ただし、指導教員による実質的指導時間を確保するため、あるいは、各研究室の施設・設備上の制約のため、指導教員の受け入れ人数に制限を設けている場合があります。この場合、受験者は試験に合格しても、希望教員の指導を受けられないことがあります。

社会デザイン科学専攻 (ページ)

コミュニティデザイン学プログラム	44
農業・農村経済学プログラム	44
建築学プログラム	45
土木工学プログラム	45
農業土木学プログラム	46
グローバル・エリアスタディーズプログラム	46
多文化共生学プログラム	47
地域人間発達支援学プログラム	48

工農総合科学専攻

光工学プログラム	49
分子農学プログラム	49
物質環境化学プログラム	50
農芸化学プログラム	51
機械知能工学プログラム	51
情報電気電子システム工学プログラム	52
農業生産環境保全学プログラム	53
森林生産保全学プログラム	54

【社会デザイン科学専攻 コミュニティデザイン学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	大森 玲子 OHMORI, Reiko	食生活学	地域住民の食と健康に関する研究
教授 Professor	梶原 良成 KAJIHARA, Yoshinari	デザイン (建築, 空間メディア)	地域資源を基にしたデザインによる課題解決
教授 Professor	陣内 雄次 JINNOUCHI, Yuji	住環境・まちづくり論	生活環境を維持向上する住まいとまちづくりのあり方に関する研究
教授 Professor	高橋 俊守 TAKAHASHI, Toshimori	地域生態学	自然と人間とのかかわりと共生デザインに関する研究
教授 Professor	塚本 純 TSUKAMOTO, Jun	経済政策論	経済政策の実物経済に与える影響の研究
教授 Professor	中島 宗皓 NAKAJIMA, Soukou	文化マネジメント	文化価値の戦略的活用とまちづくりの高度化
教授 Professor	中村 祐司 NAKAMURA, Yuji	地方自治・行政学	政策形成における多様な協働のあり方を実証的に研究
教授 Professor	原田 淳 HARADA, Jun	農村マネジメント	農業経営及び農村における組織問題
准教授 Assoc.Prof.	石井 大一郎 ISHII, Daiichiro	コミュニティ政策	コミュニティのアセスメントとサービス資源開発
准教授 Assoc.Prof.	石川 由美子 ISHIKAWA, Yumiko	臨床発達心理学	地域での生涯学習活動を通して共に生きあう人と人との関係の育ちとその支援に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	阪田 和哉 SAKATA, Kazuya	プロジェクト評価	公共プロジェクトの経済評価, 政策・事業評価
准教授 Assoc.Prof.	白石 智子 SHIRAISHI, Satoko	心理学	地域住民のメンタルヘルスに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	高島 章悟 TAKASHIMA, Shogo	器楽(管・弦・打)・ 指揮・合奏	合奏を主体とした, 参加型地域連携
准教授 Assoc.Prof.	中川 敦 NAKAGAWA, Atsushi	福祉会話分析	高齢者福祉の現場における社会的相互行為に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	三田 妃路佳 MITA, Hiroka	政治過程・政策過程	政治過程・政策過程と民主主義に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	若園 雄志郎 WAKAZONO, Yushiro	社会教育学	地域における教育力の形成に関する実践的研究
講師 Lecturer	鈴木 富之 SUZUKI, Tomiyuki	観光地理学	観光地域の形成と変容に関する人文地理学的研究

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【社会デザイン科学専攻 農業・農村経済学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	秋山 満 AKIYAMA, Mitsuru	農業政策学	農業政策, 農業構造問題
教授 Professor	安藤 益夫 ANDOH, Masuo	地域社会学	農村活性化に関する研究
教授 Professor	大栗 行昭 OHGURI, Yukiteru	農業史	日本地主制史, 農地政策史
教授 Professor	齋藤 潔 SAITOH, Kiyoshi	農業経営学	アグリビジネスと農業教育, 欧米諸国の農業発達史
教授 Professor	松村 啓子 MATSUMURA, Keiko	農業地理学・農村地理学	農業地理学, 農業地域システム
准教授 Assoc.Prof.	加藤 弘二 KATOH, Koji	環境経済学	環境経済学, 農業の多面的機能の評価
准教授 Assoc.Prof.	児玉 剛史 KODAMA, Yoshifumi	食料経済学	食料経済学, 食料経済の実証分析
准教授 Assoc.Prof.	神代 英昭 JINDAI, Hideaki	農業政策学	農業市場論, 農産物の生産・加工・流通に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	西山 未真 NISHIYAMA, Mima	農業経営学	地域資源管理論, ローカルフードシステム論

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【社会デザイン科学専攻 建築学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	郡 公 子 KOHRI, Kimiko	建築環境設備	建築環境設計とエネルギーに関する研究
教授 Professor	杉 山 央 SUGIYAMA, Hisashi	建築材料	コンクリート, 鉄筋などの建築材料の品質向上に関する研究
教授 Professor	中 島 史 郎 NAKAJIMA, Shiro	建築材料・構造	木質材料・木質構造の性能評価に関する研究
教授 Professor	増 田 浩 志 MASUDA, Hiroshi	建築構造	建築物の耐震性能評価に関する研究
教授 Professor	横 尾 昇 剛 YOKOO, Noriyoshi	建築環境・都市環境	建築都市の環境性能評価に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	古 賀 誉 章 KOGA, Takaaki	建築計画・環境心理	利用者の視点にたった建築計画に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	佐 藤 栄 治 SATO, Eiji	都市計画・建築計画	都市・建築に関わる社会的課題の解決手法に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	中 野 達 也 NAKANO, Tatsuya	建築鋼構造	鋼構造建築物の接合部性能評価に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	藤 本 郷 史 FUJIMOTO, Satoshi	建築材料・構法	建築物の維持管理・解体に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	安 森 亮 雄 YASUMORI, Akio	建築意匠・建築設計・ 都市デザイン	建築と都市のデザインに関する研究
助教 Asst.Prof.	糸井川 高 穂 ITOIGAWA, Takaho	建築環境・設備	人間の生理・心理・認知・行動に関する実践的研究
助教 Asst.Prof.	藤 原 紀 沙 FUJIWARA, Kisa	建築都市環境・環境建築	建築都市のデザインと環境性能に関する研究

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【社会デザイン科学専攻 土木工学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	池 田 裕 一 IKEDA, Hirokazu	河川工学	河川に関する災害対策と環境保全に関する研究
教授 Professor	大 森 宣 暁 OHMORI, Nobuaki	都市計画・交通計画	少子高齢社会における持続可能な都市と交通に関する研究
教授 Professor	藤 原 浩 巳 FUJIWARA, Hiromi	コンクリート工学	セメントを主体とした無機建設材料に関する研究
教授 Professor	山 岡 暁 YAMAOKA, Satoshi	プロジェクトマネジメント	社会基盤整備のプロジェクトマネジメントに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	海 野 寿 康 UNNO, Toshiyasu	地盤工学	地盤, 土壌に関する災害対策と環境問題に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	近 藤 伸 也 KONDOH, Shin-ya	防災マネジメント	自然災害を中心とした防災・危機管理に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	清 木 隆 文 SEIKI, Takafumi	岩盤工学	岩盤構造の安全性評価及び地下環境に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	藤 倉 修 一 FUJIKURA, Shuichi	構造工学	橋梁等構造物の防災と安全性に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	丸 岡 正 知 MARUOKA, Masanori	コンクリート工学	セメントやリサイクル材料を主とした建設材料に関する研究
助教 Asst.Prof.	飯 村 耕 介 IIMURA, Kosuke	海岸工学	海岸に関する災害対策と環境保全に関する研究
助教 Asst.Prof.	長 田 哲 平 OSADA, Teppei	都市計画・交通計画	人口減少社会に対応した都市・交通計画に関する研究

【社会デザイン科学専攻 農業土木学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	松井 宏之 MATSUI, Hiroyuki	水利環境工学	流域における農業水利・水循環および水環境保全
准教授 Assoc.Prof.	飯山 一平 IIYAMA, Ippei	土壌・生物環境物理学	土壌中および土壌を介した熱・物質の輸送・保持に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	大澤 和敏 OSAWA, Kazutoshi	農地環境保全学	農地保全、流域水・物質動態に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	田村 孝浩 TAMURA, Takahiro	農村計画学	農作業安全・農作業軽労化・土地改良事業に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	福村 一成 FUKUMURA, Kazunari	国際農業環境学	途上国の農業農村開発や灌漑、水管理に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	守山 拓弥 MORIYAMA, Takumi	農村生態工学	二次的自然の保全や利活用に関する研究

【社会デザイン科学専攻 グローバル・エリアスタディーズプログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	磯谷 玲 ISOYA, Akira	経済学／アメリカ経済論	アメリカにおける経済および金融市場・制度に関する研究
教授 Professor	マリー ケオマノータム Malee KAEWMANOTHAM	社会学	タイの開発と地域社会に関する研究
教授 Professor	重田 康博 SHIGETA, Yasuhiro	国際協力、市民社会	国際協力における貧困問題に関する研究
教授 Professor	松金 公正 MATSUKANE, Kimimasa	史学、東洋史、台湾植民地史	中国、台湾における宗教と社会に関する研究
教授 Professor	湯本 浩之 YUMOTO, Hiroyuki	グローバル教育論	地球的課題に取り組む教育活動に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	栗原 俊輔 KURIHARA, Shunsuke	国際協力、ガバナンス、市民社会	国際開発におけるガバナンスの研究
准教授 Assoc.Prof.	古村 学 KOMURA, Manabu	村落社会学	日本の村落社会におけるフィールド・ワークに基づく研究
准教授 Assoc.Prof.	阪本 公美子 SAKAMOTO, Kumiko	アフリカ地域研究	東アフリカにおける社会開発と文化に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	清水 奈名子 SHIMIZU, Nanako	国際関係論・国際機構論	国際連合における安全保障に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	スエヨシ アナ SUEYOSHI, Ana	応用経済学（含む歴史）	ラテンアメリカにおける政治経済に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	高橋 若菜 TAKAHASHI, Wakana	環境問題とガバナンス	環境政策が地域・国家間で相違する要因を、政治学的視点から解明する研究
准教授 Assoc.Prof.	松尾 昌樹 MATSUO, Masaki	中東地域研究	中東地域を対象とする政治経済研究
准教授 Assoc.Prof.	松村 史紀 MATSUMURA, Fuminori	東アジアの国際政治	現代中国をめぐる国際政治史に関する研究
助教 Asst.Prof.	飯塚 明子 IIZUKA, Akiko	防災と国際協力	防災分野における国際協力に関する研究
助教 Asst.Prof.	藤井 広重 FUJII, Hiroshige	国際人権論	平和構築における国際的な刑事裁判所の機能に関する研究

【社会デザイン科学専攻 多文化共生学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	天 沼 実 AMANUMA, Minoru	理論言語学, 英語学	現代英語の統語論, 意味論, 音韻論等に関する理論的・実証的研究
教授 Professor	柄木田 康 之 KARAKITA, Yasuyuki	文化人類学	アジア太平洋におけるグローバル化と伝統文化の研究
教授 Professor	木 下 大 輔 KINOSHITA, Daisuke	作曲・音楽学	作曲実技, および歴史学（西洋音楽史）の研究
教授 Professor	佐々木 一 隆 SASAKI, Kazutaka	言語学	言語普遍性から見た英語や日本語に関する研究
教授 Professor	下 田 淳 SHIMODA, Jun	歴史学, 西洋史	ヨーロッパ・ドイツの歴史と宗教に関する研究
教授 Professor	鈴 木 啓 子 SUZUKI, Keiko	日本近代文学	近代日本における言語芸術の成立と受容
教授 Professor	田 巻 松 雄 TAMAKI, Matsuo	社会学	人の国際移動と多文化共生
教授 Professor	戚 傑 QI, Jie	教育社会学, 外国語教育	学校教育および外国語教育に関する研究
教授 Professor	丁 貴 連 JEONG, Gwi Ryun	比較文学・日本文学・韓国文学	東アジアの文学と文化に関する比較研究
教授 Professor	中 村 真 NAKAMURA, Makoto	心理学	社会的共生と感情コミュニケーションに関する研究
教授 Professor	長谷川 万由美 HASEGAWA, Mayumi	社会福祉学	共生社会論, シティズンシップ教育
教授 Professor	松 井 貴 子 MATSUI, Takako	日本文化, 日本文学, 比較文化	日本の伝統と近代化, 文化の普遍性, 異質性と同質性
教授 Professor	守 安 敏 久 MORIYASU, Toshihisa	日本近代文学	日本近代文学論, 現代演劇・映画論
教授 Professor	湯 澤 伸 夫 YUZAWA, Nobuo	英語音声学	現代英語における音声の特徴と教育への応用
教授 Professor	吉 田 一 彦 YOSHIDA, Kazuhiko	言語学, 外国語教育学	多言語使用に関する研究
教授 Professor	米 山 正 文 YONEYAMA, Masafumi	米文学	19 世紀ロマン主義文学研究
准教授 Assoc.Prof.	出 羽 尚 IZUHA, Takashi	イギリス美術史	18－19 世紀のイギリスの絵画についての研究
准教授 Assoc.Prof.	大 野 斉 子 OHNO, Tokiko	ロシア文学・文化論	19 世紀ロシアの文学と表象文化論
准教授 Assoc.Prof.	鎌 田 美千子 KAMADA, Michiko	日本語教育学, 応用言語学	言語教育研究, 教育方法論, 日本語教員養成
准教授 Assoc.Prof.	黒 川 亨 子 KUROKAWA, Kyoko	刑事法学, 法学	差別的起訴, 法教育
准教授 Assoc.Prof.	高 山 慶 子 TAKAYAMA, Keiko	歴史学, 日本史	日本近世史, 近世近代移行期の歴史
准教授 Assoc.Prof.	高 山 道 代 TAKAYAMA, Michiyo	日本語学・日本語史	古代日本語の文法と語彙
准教授 Assoc.Prof.	本 田 悟 郎 HONDA, Goro	芸術学, 美術教育	芸術学（理論と美術史近現代）, 美術教育研究
准教授 Assoc.Prof.	丸 山 剛 史 MARUYAMA, Tsuyoshi	教育学, 学校教育学, 教育課程論	新制中学校カリキュラム史研究, 外国人児童生徒教育のカリキュラム, 植民地の技術・職業教育史
准教授 Assoc.Prof.	バーバラ モリソン Barbara MORRISON	文学（日本とイギリス）	カルチュラル・スタディーズ, ジェンダー
准教授 Assoc.Prof.	山 田 有希子 YAMADA, Yukiko	哲学・倫理学	ドイツ観念論哲学・生命（医療）倫理学

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【社会デザイン科学専攻 地域人間発達支援学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	加藤 謙一 KATOH, Ken-ichi	運動学・身体発達学	発育期における基礎的運動能力の発達に関する研究
教授 Professor	小原 伸一 KOHARA, Shin-ichi	声楽・音楽教育	音楽表現を含む地域の文化活動・生涯学習に関する研究
教授 Professor	小宮 秀明 KOMIYA, Hideaki	運動生理学	運動・生活習慣の改善による健康増進に関する研究
教授 Professor	松島 さくら子 MATSUSHIMA, Sakurako	工芸・美術	漆工芸表現研究・工芸を通じたアジア文化創造の実践と研究
准教授 Assoc.Prof.	上原 秀一 UEHARA, Shuichi	教育学（教育哲学）	教育における思考と言語の関係に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	株田 昌彦 KABUTA, Masahiko	絵画技法・芸術学	絵画制作を基にした技法研究，地域の美術普及に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	川島 芳昭 KAWASHIMA, Yoshiaki	教育工学・情報教育	情報社会に対応したメディア活用・コンテンツ創造に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	熊田 禎介 KUMATA, Teisuke	教科教育学（社会科教育学）	社会科教育・歴史教育に関する理論的・実践的研究
准教授 Assoc.Prof.	小原 一馬 KOHARA, Kazuma	感情社会学	遊びの面白さの教育への応用，スクールカースト
講師 Lecturer	平井 李枝 HIRAI, Rie	音楽表現学・音楽教育	音楽における表現，指導，創作，マネジメントに関する研究

【工農総合科学専攻 光工学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	大谷 幸利 OHTANI, Yukitoshi	偏光工学, 光計測, オプトメカトロニクス	偏光や分光イメージング, オプトメカトロニクスに関する研究
教授 Professor	佐藤 美恵 SATO, Mie	感性情報学	映像コンテンツとの自然なインタラクションに関する研究
教授 Professor	杉原 興浩 SUGIHARA, Okihiro	光通信工学, ポリマーフォトンクス	光ファイバー/光導波路を用いた情報通信, 光と物質の相互作用
教授 Professor	早崎 芳夫 HAYASAKI, Yoshio	情報フォトンクス, レーザー加工, 計算イメージング	光と情報の融合による加工・計測・表示・撮像
教授 Professor	山本 裕紹 YAMAMOTO, Hirotosugu	情報フォトンクス	3次元ディスプレイとその応用に関する研究
教授 Professor	湯上 登 YUGAMI, Noboru	プラズマ理工学	レーザー生成プラズマからのテラヘルツ電磁波放射
准教授 Assoc. Prof.	篠田 一馬 SHINODA, Kazuma	知覚情報処理	画像の撮影および処理に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	玉田 洋介 TAMADA, Yousuke	生物光学, バイオイメージング	光学と生物学の融合による光計測と光細胞操作に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	二宮 尚 NINOMIYA, Nao	可視化情報学	熱流体の三次元画像計測技術の開発及び応用
准教授 Assoc. Prof.	茨田 大輔 BARADA, Daisuke	光力学, 数理光物理学	光伝播解析と光記録・光計測への応用, 光と物質の相互作用
准教授 Assoc. Prof.	藤村 隆史 FUJIMURA, Ryushi	応用光工学, ナノフォトンクス	ホログラフィックメモリー, プラズモニック金属ナノ構造に関する研究
助教 Asst. Prof.	大塚 崇光 OHTSUKA, Takamitsu	プラズマ理工学	レーザー航跡場電子加速とその応用
助教 Asst. Prof.	長谷川 智士 HASEGAWA, Satoshi	光プロセッシング, 光情報処理, 光計測	高強度超短パルスレーザーによる物質加工
助教 Asst. Prof.	ネイザン ヘーガン Nathan HAGEN	応用光学	光学設計, 分光学, 計算センシング

【工農総合科学専攻 分子農学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	飯郷 雅之 IIGO, Masayuki	分子生理学	ホルモン, 神経伝達物質の生合成と作用機序, 光ゲノム生命化学
教授 Professor	福井 えみ子 FUKUI, Emiko	動物育種繁殖学	家畜の経済形質に関連する遺伝子解析
教授 Professor	松田 勝 MATSUDA, Masaru	分子遺伝学	魚類における性差構築の分子機構解明と野生集団の遺伝的多様性
教授 Professor	松本 浩道 MATSUMOTO, Hiromichi	動物育種繁殖学	哺乳動物の初期胚発生, 子宮の機能および胚と子宮の相互作用の解析
准教授 Assoc. Prof.	大西 孝幸 OHNISHI, Takayuki	植物育種学	作物の遺伝育種学研究
准教授 Assoc. Prof.	岡本 昌憲 OKAMOTO, Masanori	植物化学遺伝学	環境ストレス応答に関わるシグナル分子の作用機構解明と応用研究
准教授 Assoc. Prof.	柏木 孝幸 KASHIWAGI, Takayuki	作物栽培学	作物の農業形質を制御する遺伝的要因と環境要因に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	児玉 豊 KODAMA, Yutaka	植物細胞生物学	植物細胞における環境応答の分子機構および分子制御に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	鈴木 智大 SUZUKI, Tomohiro	生物分子情報学	天然物の単離・構造決定, 次世代シーケンサーを用いたゲノムおよびトランスクリプトーム解析
准教授 Assoc. Prof.	高橋 美智子 TAKAHASHI, Michiko	植物栄養学	植物の栄養ストレス耐性機構および生殖成長期における金属元素の役割の解明
准教授 Assoc. Prof.	西川 尚志 NISHIGAWA, Hisashi	植物病理学	植物ウイルスの病原性の分子機構に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	野村 崇人 NOMURA, Takahito	植物生理化学	植物ホルモンによる植物の生長制御に関する研究
准教授 Assoc. Prof.	宮川 一志 MIYAKAWA, Hitoshi	環境生理学	節足動物の環境応答の分子機構とその進化に関する研究
講師 Lecturer	黒倉 健 KUROKURA, Takeshi	園芸学	園芸作物の生理・生態に関する分子生理学的解析
助教 Asst. Prof.	煉谷 裕太郎 NERIYA, Yutaro	植物病理学	植物とウイルスの相互作用に関する研究

【工農総合科学専攻 物質環境化学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	飯村 兼一 IIMURA, Ken-ichi	界面化学	界面分子膜の物性・構造解析と制御，機能化に関する研究
教授 Professor	上原 伸夫 UEHARA, Nobuo	計測化学	計測化学における機能性物質の開発に関する研究
教授 Professor	江川 千佳司 EGAWA, Chikashi	触媒表面化学	各種表面分光法を駆使した原子・分子レベルにおける固体表面での反応機構の研究
教授 Professor	大庭 亨 OBA, Toru	超分子化学，生物有機化学	病気の治療や診断など，生体機能を調節，分析する分子の開発
教授 Professor	加藤 紀弘 KATOH, Norihiro	機能性高分子化学	バイオテクノロジーにおける機能性ソフトマテリアルの設計と開発
教授 Professor	佐藤 正秀 SATO, Masahide	化学工学，熱・物質移動	表面改質，ナノ材料・ナノ材料分散系の合成と応用に関する研究
教授 Professor	単 躍 進 SHAN, Yue Jin	無機材料化学，固体化学	機能性無機化合物の合成と物性に関する教育・研究
准教授 Assoc.Prof.	刈込 道徳 KARIKOMI, Michinori	有機合成化学	新規合成反応の開発と特異な有機化合物の合成研究
准教授 Assoc.Prof.	酒井 保蔵 SAKAI, Yasuzo	環境保全学	環境技術，環境負荷低減，水の浄化技術に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	佐藤 剛史 SATO, Takafumi	化学工学	超臨界流体および膜を用いた反応分離に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	手塚 慶太郎 TEZUKA, Keitaro	無機固体化学	新しい機能性無機化合物の合成と評価
准教授 Assoc.Prof.	古澤 毅 FURUSAWA, Takeshi	化学工学・触媒化学	化学プロセスにおける触媒開発に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	松本 太輝 MATSUMOTO, Taki	無機合成化学	液相プロセスによる機能性無機材料の創出に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	諸星 知広 MOROHOSHI, Tomohiro	生物工学	細菌間コミュニケーション機構に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	吉原 佐知雄 YOSHIHARA, Sachio	電気化学・表面処理技術・エレクトロニクス実装技術	電気化学的手法を用いた原子レベルの表面制御及び新機能性物質の開発
助教 Asst.Prof.	伊藤 智志 ITO, Satoshi	有機化学	新規複素環化合物の合成と機能性有機材料の開発
助教 Asst.Prof.	岩井 秀和 IWAI, Hidekazu	触媒化学・計算化学	表面プラズモンを利用した光触媒の開発に関する研究
助教 Asst.Prof.	爲末 真吾 TAMESUE, Shingo	超分子化学，高分子化学	超分子的結合を利用した高分子機能材料の開発
助教 Asst.Prof.	奈須野 恵理 NASUNO, Eri	生物機能工学	機能性高分子材料を用いた微生物代謝機能の制御・利用研究
助教 Asst.Prof.	荷方 稔之 NIKATA, Toshiyuki	環境生物工学	環境汚染物質に走化性を示すバクテリアの工学的応用

☆印の教員は，令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は，出願前に当該教員に連絡をする際に，研究指導体制について必ず確認をしてください。

【工農総合科学専攻 農芸化学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	東 徳 洋 AZUMA, Norihiro	食品生化学	乳中の機能蛋白質・ペプチドに関する研究
教授 Professor	蕪 山 由己人 KABUYAMA, Yukihiro	生物化学	生物由来機能性成分の高度利用に関する研究
教授 Professor	橋 本 啓 HASHIMOTO, Kei	食品化学	調理・加工が食品の機能性に及ぼす影響に関する研究
教授 Professor	羽 生 直 人 HABU, Naoto	生物高分子材料学	生物高分子の機能開発とその利用
教授 Professor	前 田 勇 MAEDA, Isamu	応用微生物学	微生物の諸機能の解析とそれらの応用研究
教授 Professor	山 田 洋 一 YAMADA, Yoichi	有機化学	有機化合物一般の構造解析及び新規合成法の研究
教授 Professor	横 田 信 三 YOKOTA, Shinso	森林化学	樹病に関するプロテオミクス・メタボロミクス、木質系バイオマスの利用開発
教授 Professor	吉 澤 史 昭 YOSHIZAWA, Fumiaki	栄養制御学	栄養素による体タンパク質合成制御の機構解析
准教授 Assoc.Prof.	石 栗 太 ISHIGURI, Futoshi	木材材料学	造林木の成長と材質、熱帯樹木の成長と材質、広葉樹あて材の組織構造と化学成分
准教授 Assoc.Prof.	金 野 尚 武 KONNO, Naotake	高分子材料化学	バイオマスの高度利用に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	謝 肖 男 XIE, Xiao Nan	天然物化学	生理活性物質の単離・構造解析および質量分析に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	二 瓶 賢 一 NIHEI, Ken-ichi	天然物有機化学	天然有機化合物の構造決定、化学合成と機能性評価
准教授 Assoc.Prof.	水 重 貴 文 MIZUSHIGE, Takafumi	生物機能化学	機能性食品成分の生理作用に関する研究
講師 Lecturer	佐 藤 祐 介 SATO, Yusuke	栄養制御学	筋肉のサイズとタイプの調節に関する研究

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【工農総合科学専攻 機械知能工学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	尾 崎 功 一 OZAKI, Koichi	ロボティクス	ロボット技術とロボットの社会実装に関する研究
教授 Professor	酒 井 一 博 SAKAI, Kazuhiro	力学系理論、エルゴード理論	力学系の安定性や分岐現象、アトラクタのカオスやフラクタルに関する研究
教授 Professor	嶋 脇 聡 SHIMAWAKI, Satoshi	バイオエンジニアリング・医工学・福祉工学	生体機能・運動の計測・シミュレーション
教授 Professor	高 山 善 匡 TAKAYAMA, Yoshimasa	マテリアル工学・接合技術	環境負荷低減のための材料開発・接合技術に関する研究
教授 Professor	長谷川 裕 晃 HASEGAWA, Hiroaki	流体工学	流体力学を基にした航空・宇宙、医療、スポーツ分野への応用
教授 Professor	馬 淵 豊 MABUCHI, Yutaka	マイクロ・ナノ工学	薄膜による超低摩擦、遮熱・伝熱機能の研究
教授 Professor	横 田 和 隆 YOKOTA, Kazutaka	ロボット工学・メカトロニクス	移動ロボット、メカトロニクス応用技術、製品組立計画の支援等に関する研究
教授 Professor	吉 田 勝 俊 YOSHIDA, Katsutoshi	機械力学・制御	運動のモデル化と知的制御に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	佐 藤 隆之介 SATO, Ryunosuke	生産工学・加工学	固定砥粒研磨、ナノメータ表面創成等に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	鄒 艶 華 ZOU, Yan Hua	先端精密加工学	精密加工技術、磁気加工技術の基礎と応用
准教授 Assoc.Prof.	白 寄 篤 SHIRAYORI, Atsushi	成形加工学・弾塑性学	金属部品の軽量化および成形プロセスに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	関 川 宗 久 SEKIKAWA, Munehisa	非線形ダイナミクス	振動子の同期現象やカオス現象に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	星 野 智 史 HOSHINO, Satoshi	知能ロボット・システム	知能ロボティクス、人工知能、機械学習、ヒューマン・ロボットインタラクション、群知能
准教授 Assoc.Prof.	谷 島 尚 宏 YAJIMA, Takahiro	応用力学・応用幾何学	応用力学における微分幾何学的研究
准教授 Assoc.Prof.	山 本 篤史郎 YAMAMOTO, Tokujiro	材料工学	材料組織・原子配列制御による新素材の創製と評価に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	渡 邊 信 一 WATANABE, Shin-ichi	工学教育、感性工学	心理計測方法、心理の定量化に関する研究
助教 Asst.Prof.	中 林 正 隆 NAKABAYASHI, Masataka	バイオメカニクス、バイオメデティクス、医用工学	バイオメデティクス、ヒューマンインターフェース、医用工学、福祉工学

【工農総合科学専攻 情報電気電子システム工学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	石 田 邦 夫 ISHIDA, Kunio	電子物性工学	光物性・半導体物理・量子ダイナミクスやそれらの光デバイスへの応用に関する研究
教授 Professor	伊 藤 篤 ITO, Atsushi	人間情報学	アドホックネットワーク、ドローン、非言語コミュニケーション、観光情報システム、ヘルスケア、司法制度と ICT に関する研究
教授 Professor	伊 藤 聡 志 ITO, Satoshi	医用画像工学	MRI の撮像アルゴリズムと画像再構成法、医用画像処理に関する研究
教授 Professor	入 江 晃 亘 IRIE, Akinobu	電子物性工学	高温超伝導体ナノ構造の物性やその量子機能デバイスへの応用に関する研究
教授 Professor	上 村 佳 嗣 KAMIMURA, Yoshitsugu	環境電磁工学, 医用生体工学	電磁界解析, 電磁環境計測, 電磁界の生体への影響に関する研究
教授 Professor	川 田 重 夫 KAWATA, Shigeo	電磁エネルギー工学	核融合エネルギーを含むエネルギー問題に関する研究
教授 Professor	古 神 義 則 KOGAMI, Yoshinori	情報通信システム工学	通信用マイクロ波・ミリ波回路の設計技術, マイクロ波・ミリ波回路の材料計測技術への応用などに関する研究
教授 Professor	長谷川 光 司 HASEGAWA, Hiroshi	感性工学, 音響工学	感性情報処理, 音響信号処理, 音響計測, 波動理論とその応用に関する研究
教授 Professor	長谷川 まどか HASEGAWA, Madoka	画像工学	画像符号化, 画像処理, 電子透かし, ユーザブルセキュリティに関する研究
教授 Professor	東 口 武 史 HIGASHIGUCHI, Takeshi	電磁エネルギー工学	ファイバレーザ・固体レーザおよび極端紫外・軟 X 線光源に関する研究
教授 Professor	平 田 光 男 HIRATA, Mitsuo	情報通信システム工学	先端的制御理論およびそれらの産業応用に関する研究
教授 Professor	船 渡 寛 人 FUNATO, Hirohito	電磁エネルギー工学	パワーエレクトロニクスおよび再生可能エネルギーに関する研究
教授 Professor	矢 嶋 徹 YAJIMA, Tetsu	数理科学, 物性基礎論	数理論理学, 計算機物理学及び無限自由度可積分系の解析に関する研究
教授 Professor	横 田 隆 史 YOKOTA, Takashi	計算機システム工学	並列・分散計算機システム, 組込み計算機システム, 設計方法論に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	東 剛 人 AZUMA, Takehito	情報通信システム工学	システムバイオロジーおよびハイブリッドシステムのモデル制御予測などに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	石 川 智 治 ISHIKAWA, Tomoharu	人間情報学, 感性工学	認知科学・感性工学に基づくマルチモーダルインタフェース技術, パーチャルリアリティ, 心理物理学, 心理生理学に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	大 津 金 光 OHTSU, Kanemitsu	計算機システム工学	高性能計算機システム, 並列分散処理に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	柏 倉 隆 之 KASHIWAKURA, Takayuki	電子物性工学	X 線分光分析技術および薄膜作製技術に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	小 池 正 史 KOIKE, Masafumi	理論物理学, 素粒子論	素粒子物理学および素粒子論的宇宙論の理論的研究
准教授 Assoc.Prof.	後 藤 博 樹 GOTOH, Hiroki	電磁エネルギー工学	モータ・発電機的设计・制御技術, 電気自動車への応用などに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	佐久間 洋 志 SAKUMA, Hiroshi	電子物性工学	スピントロニクスおよび結晶構造解析に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	清 水 隆 志 SHIMIZU, Takashi	情報通信システム工学	マイクロ波・ミリ波帯における回路設計技術, 材料評価技術などに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	外 山 史 TOYAMA, Fubito	情報システム工学	進化計算, ソフトコンピューティング, パターン認識に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	藤 井 雅 弘 FUJII, Masahiro	情報統計学	無線通信ネットワーク, 高度交通システム, 位置情報システムに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	森 大 毅 MORI, Hiroki	情報通信システム工学	音声・音声言語情報処理・音声対話システムなどに関する研究
准教授 Assoc.Prof.	森 博 志 MORI, Hiroshi	メディア情報工学	コンピュータグラフィックス, 複合現実感に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	依 田 秀 彦 YODA, Hidehiko	情報通信システム工学	光ファイバ通信デバイスの原理・設計・解析・作製・評価に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	寄 川 弘 玄 YORIKAWA, Hiroharu	電子物性工学	結晶構造のバンド計算・ナノクラスターの分子軌道計算など個体の電子構造等を対象とした数値シミュレーションに関する研究
助教 Asst.Prof.	齋 藤 和 史 SAITOH, Yoshifumi	電磁エネルギー工学	プラズマ中の非線形現象や微粒子プラズマに関する基礎研究
助教 Asst.Prof.	鈴 木 雅 康 SUZUKI, Masayasu	情報通信システム工学	先端的制御理論およびそれらの産業応用に関する研究
助教 Asst.Prof.	鶴 田 真理子 TSURUTA, Mariko	感性工学, 音響心理学	音響心理, 音・音環境デザインに関する研究
助教 Asst.Prof.	春 名 順之介 HARUNA, Junnosuke	電磁エネルギー工学	パワーエレクトロニクスおよび再生可能エネルギーに関する研究
助教 Asst.Prof.	八 巻 和 宏 YAMAKI, Kazuhiro	電子物性工学	高温超伝導体ナノ構造の物性およびその量子機能デバイスへの応用に関する研究

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【工農総合科学専攻 農業生産環境保全学プログラム】

☆

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	相 田 吉 昭 AITA, Yoshiaki	地質学	地質・古生物学に基づく地球環境変遷に関する研究
教授 Professor	池 口 厚 男 IKEGUCHI, Atsuo	生物環境情報工学	家畜、植物生産における生体、環境情報の取得と利用に関する研究
教授 Professor	小笠原 勝 OGASAWARA, Masaru	雑草学	雑草の生態と制御に関する研究
教授 Professor	齋 藤 高 弘 SAITOH, Takahiro	生物環境調節学	施設園芸、植物工場、食品科学に関する研究
教授 Professor	関 本 均 SEKIMOTO, Hitoshi	植物栄養・肥科学	人と食べ物と環境のための養分の科学
教授 Professor	園 田 昌 司 SONODA, Shoji	応用昆虫学	農業害虫の総合的害虫管理に関する研究
教授 Professor	長 尾 慶 和 NAGAO, Yoshikazu	動物繁殖生理学	動物の生殖生理、繁殖および飼養管理に関する研究
教授 Professor	房 相 佑 BANG, Sang Woo	植物育種学	アブラナ科植物における遠縁交雑の遺伝育種学的利用
教授 Professor	平 井 英 明 HIRAI, Hideaki	土壌圏科学	人類の生存基盤である土壌圏に関する研究
教授 Professor	松 井 正 実 MATSUI, Masami	圃場機械学	圃場機械の構造と利用に関する研究
教授 Professor	山 根 健 治 YAMANE, Kenji	園芸学	園芸作物の生理・生態、生産および利用に関する研究
教授 Professor	和 田 義 春 WADA, Yoshiharu	作物栽培学	作物の生理生態に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	青 山 真 人 AOYAMA, Masato	動物機能形態学	形態学・生理学・行動学に即した動物の管理法の考案
准教授 Assoc.Prof.	岩 永 将 司 IWANAGA, Masashi	昆虫機能利用学	昆虫と昆虫ウイルスの機能利用、分子生物学
准教授 Assoc.Prof.	柏 寄 勝 KASHIWAZAKI, Masaru	ポストハーベストテクノロジー	農産物流通における高品質化および品質評価に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	小 寺 祐 二 KODERA, Yuji	保全生物学	自然生態系の保全や野生動物の管理に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	高 橋 行 継 TAKAHASHI, Yukitsugu	作物生産環境学	高品質多収作物生産を目的とする気象環境と栽培技術の関係を解明する研究
准教授 Assoc.Prof.	西 尾 孝 佳 NISHIO, Takayoshi	植生学	植生及びそれを構成する植物に関する生態学的研究
准教授 Assoc.Prof.	菱 沼 竜 男 HISHINUNA, Tatsuo	生物環境システム学	低環境負荷型の農畜産物生産システムの検討と評価
准教授 Assoc.Prof.	福 井 糧 FUKUI, Ryo	農業環境微生物学	微生物が生息する土壌環境と微生物の機能に関する研究
講師 Lecturer	栗 原 望 KURIHARA, Nozomi	動物形態学	動物の体の構造と機能、その成り立ちや進化に関する研究
助教 Asst.Prof.	池 田 裕 樹 IKEDA, Hiroki	園芸フィールド生理学	園芸作物の生理・生態に関する研究
助教 Asst.Prof.	神 山 拓 也 KOH-YAMA, Takuya	作物栽培学	作物の養水分吸収および支持に関わる根系の研究
助教 Asst.Prof.	田 村 匡 嗣 TAMURA, Masatsugu	食品流通工学	食品の加工技術および品質評価に関する研究

☆印の教員は、令和3年3月末に定年退職予定です。当該教員の指導を希望する者は、出願前に当該教員に連絡をする際に、研究指導体制について必ず確認をしてください。

【工農総合科学専攻 森林生産保全学プログラム】

職位	教員名	教育研究分野	研究内容
教授 Professor	飯塚 和也 IIZUKA, Kazuya	森林資源保全学	樹木の量的遺伝および放射性セシウムの挙動に関する研究
教授 Professor	大久保 達弘 OHKUBO, Tatsuhiro	森林生態学・育林学	森林群落の更新機構の解明と劣化した森林生態系の修復
教授 Professor	執印 康裕 SHUIN, Yasuhiro	砂防工学	山地森林流域を対象とした土砂移動現象に関する研究
教授 Professor	山本 美穂 YAMAMOTO, Miho	森林政策学	保続的森林資源利用のための制度設計に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	逢沢 峰昭 AIZAWA, Mineaki	森林植物学	森林植物の遺伝・形態・生態的特性の地理的変異に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	有賀 一広 ARUGA, Kazuhiro	森林作業学	森林作業システムにおける最適化に関する研究
准教授 Assoc.Prof.	松 英恵 吾 MATSUE, Keigo	森林計画学	森林資源の保続的利用を前提とした森林計画に関する研究
講師 Lecturer	大島 潤一 OHSHIMA, Jun-ichi	森林資源管理学	森林被害および被害を受けた樹木の材質劣化に関する研究
助教 Asst.Prof.	林 宇一 HAYASHI, Uichi	森林経済学	林業労働に関する経済分析及び木材市場動向分析